

対象校No. 77

注4

学校コード F117110105393

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前相談

注2

金沢大学 融合学域 スマート創成科学類

**【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)**

国立大学法人金沢大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画評価室
職名・氏名	専門職員 小島 直人
電話番号	076-264-5020
(夜間)	076-264-5020
e-mail	g1kikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

融合学域

＜スマート創成科学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人金沢大学

(2) 大学名

金沢大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1192
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ワダ タカシ) 和田 隆志 (令和4年4月)		
学部長	(オオタケ シゲキ) 大竹 茂樹 (令和3年4月)	(イイヤマ コウイチ) 飯山 宏一 (令和6年4月)	令和6年3月31日付けで大竹茂樹学域長が任期満了で退任し、飯山宏一学域長が就任(6)
学科長等	(ヤマモト シゲル) 山本 茂 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
融合学域 スマート創成科学類 学士(学術)	工学関係 社会学・社会 福祉学関係	4 年	55 人	2年次 0 人 3年次 20 人 4年次 0 人	260 人	-	変更前的人数 20人。令和6年度変更・報告

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	55	55	55	55	-	1.08倍	-	「理系一括」及び「文系一括」入試は、按分して計上している。
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	48	-	128	-	-	-	-	
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	45	-	123	-	-	-	-	
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	21	-	60	-	-	-	-	
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	21	-	60	-	-	-	-	
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.05	1.09	-	-	-	-	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定しない場合は「-」を選択)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1年次	-	-	-	-					19	-	56	-	2年次在学者の異動前の所属内訳は、総合教育部2名。
	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	-	-	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-			-	-	21	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	-	-	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	-	-	(-)	()	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	
							(-)	(-)	-	-	(-)	(-)	
計	-	-	-	-					19		77		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[]	[]	[]	[]	[-]	[-]	[1]	[]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	()	()	()	()	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	19 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	77 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{77} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<融合学域 スマート創成科学類>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	大学・社会生活論	1①	1			1						
	データサイエンス基礎	1①	1						1			
	地域概論	1②	1								2	
	小計 (3科目)	—	3	0	0	1	0	0	1	0	2	
	1位 1群 (へ) 自己を知る (の) 立ち	現代世界への歴史学的アプローチ	①②・③・④	1								1
		グローバル時代の政治経済学	①②・③・④	1								1
		グローバル時代の社会学	①②・③・④	1								1
	2位 2群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	ケーススタディによる応用倫理学	①②・③・④	1								1
		地球生物圏と人間	①②・③・④	1								1
		哲学 (自我論)	①②・③・④	1								1
3位 3群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	パーソナリティ心理学	①②・③・④	1								1	
	グローバル時代の文学	①②・③・④	1								1	
	健康科学	①②・③・④	1								1	
4位 4群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	細胞・分子生物学	①②・③・④	1								2	
	エクササイズ&スポーツ 実技	①②・③・④	1								1	
	クリティカル・シンキング	①②・③・④	1								1	
5位 5群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	価値と情動の認知科学	①②・③・④	1								1	
	芸術と自己表現	①②・③・④	1								1	
	スポーツ科学	①②・③・④	1								1	
4群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	金沢・能登と世界の地域文化	1②・③・④	1								1	
	日本史・日本文化	1②・③・④	1								3	
	異文化間コミュニケーション	①②・③・④	1								2	
	異文化体験 A	1②・④	1								1	
	異文化体験 B	1②・④	2								1	
	異文化体験 C	1②・④	3								1	
	異文化体験 D	1②・④	4								1	
	異文化体験 E	1②・④	5								1	
	異文化体験 F	1②・④	6								1	
	異文化体験 G	1②・④	7								1	
5群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	異文化体験 H	1②・④	8								1	
	グローバル時代の国際協力	①②・③・④	1								1	
	グローバル社会と地域の課題	①②・③・④	1								1	
	5群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	科学技術と科学方法論	①②・③・④	1								1
		統計学から未来を見る	①②・③・④	1								1
		環境学と E S D	①②・③・④	1								1
		生活と社会保障	①②・③・④	1						1		1
	6群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	現代社会と人権	①②・③・④	1								1
		インテグレートド科学	①②・③・④	1								1
		AI入門	①②・③・④	1				1				1
情報の科学		①②・③・④	1								1	
7群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	デザイン思考入門	①②・③・④	1								2	
	論理学と数学の基礎	①②・③・④	1								1	
	小計 (38科目)	—	0	66	0	0	0	1	1	0	32	
	G S 言語科目 (英語)	TOEIC準備 I	1①	1								1
TOEIC準備 II		1②	1								1	
TOEIC準備 III		1③	1								1	
TOEIC準備 IV		1④	1								1	
TOEIC準備 (演習)		①②・③・④	1								1	
English for Academic Purposes I		1①	1								1	
English for Academic Purposes II		1②	1								1	
English for Academic Purposes III		1③	1								1	
English for Academic Purposes IV		1④	1								1	
English for Academic Purposes (Retake)		①②・③・④	1								1	
G S 言語科目 (日本語)	アカデミック基礎日本語A	1①	1								1	
	アカデミック基礎日本語B	1②	1								1	
	講義の聴解A	1①・③	1								1	
	講義の聴解B	1②・④	1								1	
	口頭発表A	1①・③	1								1	
	口頭発表B	1②・④	1								1	
	上級読解 I A	1①	1								1	
	上級読解 I B	1②	1								1	
	上級読解 II A	1③	1								1	
	上級読解 II B	1④	1								1	
基礎科目	日本語で学ぶ論理A	1①・③	1								1	
	日本語で学ぶ論理B	1②・④	1								1	
	日本事情A	1①・③	1								1	
	日本事情B	1②・④	1								1	
	アカデミック・ライティングA	1①・③	1								1	
	アカデミック・ライティングB	1②・④	1								1	
	小計 (26科目)	—	10	16	0	0	0	0	0	0	7	
	微分積分学 I A	1①	1								1	
	微分積分学 I B	1②	1								1	
	微分積分学 II A	1③	1								1	
微分積分学 II B	1④	1								1		
線形代数 I A	1①	1								1		
線形代数 I B	1②	1								1		
線形代数 II A	1③	1								1		
線形代数 II B	1④	1								1		
統計数学A	1⑤	1								1		
統計数学B	1⑥	1								1		
物理学 I A	1①	1								1		
物理学 I B	1②	1								1		
物理学 II A	1③	1								1		
物理学 II B	1④	1								1		
化学 I A	1①	1								1		
化学 I B	1②	1								1		
化学 II A	1③	1								1		
化学 II B	1④	1								1		
小計 (18科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0	4	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	大学・社会生活論	1①	1									1	
	データサイエンス基礎	1①	1									1	
	地域概論	1②	1									2	
	小計 (3科目)	—	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
	1位 1群 (へ) 自己を知る (の) 立ち	現代世界への歴史学的アプローチ	①②・③・④	1									1
		グローバル時代の政治経済学	①②・③・④	1									1
		グローバル時代の社会学	①②・③・④	1									1
	2位 2群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	ケーススタディによる応用倫理学	①②・③・④	1									1
		地球生物圏と人間	①②・③・④	1									1
		哲学 (自我論)	①②・③・④	1									1
3位 3群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	パーソナリティ心理学	①②・③・④	1									1	
	グローバル時代の文学	①②・③・④	1									1	
	健康科学	①②・③・④	1									1	
4位 4群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	細胞・分子生物学	①②・③・④	1									2	
	エクササイズ&スポーツ 実技	①②・③・④	1									1	
	クリティカル・シンキング	①②・③・④	1									1	
5位 5群 (へ) 自己を鍛える (る) 立ち	価値と情動の認知科学	①②・③・④	1									1	
	芸術と自己表現	①②・③・④	1									1	
	スポーツ科学	①②・③・④	1									1	
4群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	地域社会と文化人類学	1②・③・④	1									1	
	日本史・日本文化	1②・③・④	1									3	
	異文化間コミュニケーション	①②・③・④	1									2	
	異文化体験 A	1②・④	1									1	
	異文化体験 B	1②・④	2									1	
	異文化体験 C	1②・④	3									1	
	異文化体験 D	1②・④	4									1	
	異文化体験 E	1②・④	5									1	
	異文化体験 F	1②・④	6									1	
	異文化体験 G	1②・④	7									1	
5群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	異文化体験 H	1②・④	8									1	
	グローバル時代の国際協力	①②・③・④	1									1	
	グローバル社会と地域の課題	①②・③・④	1									1	
	5群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	科学技術と科学方法論	①②・③・④	1									1
		統計学から未来を見る	①②・③・④	1									1
		環境学と E S D	①②・③・④	1									1
		生活と社会保障	①②・③・④	1							1		1
	6群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	現代社会と人権	①②・③・④	1									1
		インテグレートド科学	①②・③・④	1									1
		AI入門	①②・③・④	1									1
情報の科学		①②・③・④	1									1	
7群 (へ) 世界とつながる (る) 立ち	デザイン思考入門	①②・③・④	1									2	
	論理学と数学の基礎	①②・③・④	1									1	
	小計 (38科目)	—	0	66	0	0	0	0	0	0	1	0	34
	G S 言語科目 (英語)	Practical English I	1①	1									1
Practical English II		1②	1									1	
Practical English III		1③	1									1	
Practical English IV		1④	1									1	
English for Academic Purposes													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教		助手
	金沢の歴史と文化	1③~④	2							1	
	日本の伝統芸能	1②	1							1	
	地域創造学特別講義C	1③	1							1	
	地域創造学特別講義D	1④	1							1	
	日本国憲法概説	1③	2							1	
	日本史要説	2①~②	2							1	
	東洋史要説	2③~④	2							1	
	ソーシャルビジネス概論	1①	1							1	
	行政学の基礎	1①	2							1	
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①	1							1	
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③	1							1	
	コーヒーと社会	1③	1							1	
	コーヒーと科学	1④	1							1	
	能登・地域活性化演習 I	1②	1							1	
	能登・地域活性化演習 II	1②	1							1	
	地学実験	1②~③	2							1	
	生物学実験	1①~②	2							1	
	海洋生化学演習	1①	2							1	
	地域のトップリーダーを繋ぐ I	1①	1							1	
	地域のトップリーダーを繋ぐ II	1②	1							1	
	ローカルキャリアデザイン I	1②	1							1	
	ローカルキャリアデザイン II	1③	1							1	
	環境動態学概説 I	1③	1							1	
	環境動態学概説 II	1④	1							1	
	Pythonデータ分析入門	1②	1							1	
	プレゼンテーション演習A	1③	1							1	
	プレゼンテーション演習B	1④	1							1	
	コンピュータグラフィクス演習 I	1③	1							1	
	コンピュータグラフィクス演習 II	1④	1							1	
	動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①	1							1	
	動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②	1							1	
	Society 5.0 概論A	1①	1							1	
	Society 5.0 概論B	1②	1							1	
	英語セミナー	⑤・⑥・⑦・⑧	1							1	
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1③	1							1	
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	1④	1							1	
	ドイツ語A (充実クラス1-1)	1③	1							1	
	ドイツ語A (充実クラス1-2)	1④	1							1	
	ドイツ語A (充実クラスII-1)	1③	1							1	
	ドイツ語A (充実クラスII-2)	1④	1							1	
	フランス語A (充実クラスI-1)	1③	1							1	
	フランス語A (充実クラスI-2)	1④	1							1	
	フランス語A (充実クラスII-1)	1③	1							1	
	フランス語A (充実クラスII-2)	1④	1							1	
	中国語A (充実クラスI-1)	1③	1							1	
中国語A (充実クラスII-2)	1④	1							1		
小計 (67科目)	—	0	80	0	0	0	0	0	0	33	
共通教育科目計 (220科目)	—	13	248	0	1	0	1	1	0	78	
専門教育科目	アカデミックスキル	1①	1			1					
	プレゼン・ディベート論	1②	1			1					
	デザイン思考	1②	1				1				
	イノベーション基礎	1③	1							1	
	数理・データサイエンス基礎及び演習	1③	2					1		1	
	小計 (5科目)	—	6	0	0	2	0	1	1	0	2
	学域GS言語科目 I / 海外実践英語	2①・②	1							1	
	学域GS言語科目 II / 時事・学術英語	3①・②	1							1	
	小計 (2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	アントレプレナー基礎	1①	1		1						
アントレプレナー演習 I	2①	1		1							
産業DX・P・B・L演習 I	2①	1				1			1		
社会調査法	2①	1		1							
数理科学探求	2①	1					1		1		
アントレプレナー演習 II	2②	1		1							
産業DX・P・B・L演習 II	2②	1				1			1		
データ解析演習	2②	1					1		2		
地方創生に見る社会課題	2②	1					1				
スマートデバイス演習	2③	1			1				1		
北陸地域創生と社会学	2③	1		1					1		
数理・データサイエンス・AI実践	2③	1				1			1		
プログラミングスキル	2③	1							1		
Webサイト設計基礎	2④	1					1		1		
データ駆動型社会と産業	2④	1					1		1		
プログラミングスキル実践	3①	1		1					1		
アプリ開発	3②	1							1		
小計 (17科目)	—	5	12	0	4	1	1	2	0	7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	
	金沢の歴史と文化	1③~④	2							1
	日本の伝統芸能	1②	1							1
	防災学入門	1③	1							1
	社会実装から学ぶ循環経済	1④	1							1
	日本国憲法概説	1③	2							1
	地域史料から読みとる日本史	1③	1							1
	長崎花と金沢アート	1④	1							1
	文明起源の考古学	1④	1							1
	ソーシャルビジネス概論	1①	1							1
	環相論入門	1①	1							1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①	1							1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③	1							1
	コーヒーと社会1	1①	1							1
	コーヒーと科学1	1②	1							1
	コーヒーと社会2	1③	1							1
	コーヒーと科学2	1④	1							1
	能登・地域活性化演習	1②	1							1
	実践アントレプレナー学	1④	1							1
	地学実験	1②~③	2							1
	生物学実験	1①~②	2							1
	海洋生化学演習	1①	2							1
	地域のトップリーダーを繋ぐ I	1①	1							1
	地域のトップリーダーを繋ぐ II	1②	1							1
	ローカルキャリアデザイン I	1②	1							1
	ローカルキャリアデザイン II	1③	1							1
	環境動態学概説 I	1③	1							1
	環境動態学概説 II	1④	1							1
	RとQuartoではじめるデータサイエンス	1②	1							1
	プレゼンテーション演習A	1③	1							1
	プレゼンテーション演習B	1④	1							1
	Unityゲーム開発演習	1③	1							1
	Unreal Engineゲーム開発演習	1④	1							1
	動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①	1							1
	動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②	1							1
	シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A	1②	1							1
	シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B	1③	1							1
	融合先端知実演習A	1②・④	1							1
	文学創作実演	1③	1							1
	学域横断的プロジェクト入門	1④	1							1
	比較文化	⑩・⑪・⑫	1							1
	ピアノ教育の社会史	⑩・⑪・⑫	1							1
	数理生命科学入門	1④	1							1
	クラウド時代のへとソのレ	1①~②	1							1
	AIと社会情報学 (SEL)	1①	1							1
	小計 (67科目)	—	0	77	0	0	0	0	0	0
共通教育科目計 (197科目)	—	13	222	0	0	0	0	1	0	86
専門教育科目	アカデミックスキル	1①	1				1			
	プレゼン・ディベート論	1②	1				1			
	デザイン思考	1②	1					1		2
	イノベーション基礎	1③	1							1
	数理・データサイエンス基礎及び演習	1③	2							2
	小計 (5科目)	—	6	0	0	0	1	1	0	6
	学域GS言語科目 I / 海外実践英語	2①・②	1							1
	学域GS言語科目 II / 時事・学術英語	3①・②	1							1
	学域GS言語科目 III (Presentation)	④・⑤・⑥	1							1
	学域GS言語科目 III (Interaction)	⑦・⑧・⑨	1							1
学域GS言語科目 III (English for STEM)	⑩・⑪・⑫	1							1	
学域GS言語科目 III (Science and Society)	⑬・⑭・⑮	1							1	
学域GS言語科目 III (Reading and Discussion)	⑯・⑰・⑱	1							1	
小計 (7科目)	—	2	6	0	0	0	0	0	0	6
専門基礎科目	アントレプレナー基礎	1①	1		1					
	アントレプレナー演習 I	2①	1		1					
	産業DX・P・B・L演習 I	2①	1				1			1
	社会調査法	2①	1					1		1
	数理科学探求	2①	1					1		1
	アントレプレナー演習 II	2②	1		1					
	産業DX・P・B・L演習 II	2②	1				1			1
	データ解析演習	2②	1					1		1
	地方創生に見る社会課題	2②	1					1		
	スマートデバイス演習	2③	1			1				1
北陸地域創生と社会学	2③	1							1	
数理・データサイエンス・AI実践	2③	1				1			1	
プログラミングスキル	2③	1							1	
Webサイト設計基礎	2④	1					1		1	
データ駆動型社会と産業	2④	1					1		2	
プログラミングスキル実践	3①	1		1					1	
アプリ開発	3②	1							1	
小計 (17科目)	—	5	12	0	1	0	3	0	0	7

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		助手
高専科目	テクノロジー基礎	1④	1			1				4	
	ファイナンス基礎	1④	1							1	
	ロボティクス基礎	2①	1			1					
	スマート創成化学とバイオロジー	2①	1			1	1				
	技術社会と倫理	2①	1			1					
	フィンテック基礎とビジネス応用	2①	1			1				1	
	マーケティング論	2①	2			1					
	北陸技術経営論	2①	1			1					
	AIと未来の社会学	2②	1			1		1		1	
	未来エネルギー創成	2②	1			1		1		1	
	超スマートシティとSociety 5.0	2②	1			1				4	
	社会変動と労働生産性	2③	1						1	6	
	世界の課題と技術トレンド	2③	1			1				1	
	SDGs基礎	2③	1			1				1	
	IoT技術	2③	1			1				2	
	金融工学	2③	1			1				1	
	情報科学応用	2③	1			1				1	
	社会と工学における最適化	2③	1							1	
	数理行動モデル基礎	2④	1			1				1	
	スマートシステム制御	2④	1			1					
	北陸の都市・農村・文化	2④	1			1				1	
	北陸の農林水産・製造業	2④	1			1				1	
	消費生活論	2④	1		2					1	
	コンピュータとデジタル回路	3①	1							1	
	イノベーション・マネジメント	3④	1							1	
小計 (25科目)	—	—	4	22	0	7	2	2	2	0	10
専門科目	先端医学	2④	1							1	
	未来医学	2④	1							1	
	QOLとWell-being	2④	1			1				1	
	人間拡張とライフ	3①	1			1	1				
	地域の居住空間デザイン	3①	1			1		1			
	ヒューマンインターフェース	3①	1			1				2	
	生活デザイン論	3②	1			1				1	
	超高齢社会と科学技術	3②	1			1		1			
	地域包括ケアと地方創生	3②	1			1				1	
	生活行動とアクティビティ	3②	1			1					
	未来型ヘルスケアシステム	3③	1					1		1	
	人間工学	3③	1			1		1			
	健康スポーツ栄養学	3③	1			1				1	
	スマートウエルネス	3③	1			1				1	
	レギュラトリーサイエンス	3④	1			1				1	
	AI・IoT健康福祉学	3④	1					1		1	
	フィジカル・ブレイン接続	3④	1							1	
	ヘルステック	3④	1			1				1	
	スマート産業論	2③	1			1				1	
	消費者行動と社会	2③	1			1				1	
	実践データサイエンス	2④	1			1				1	
	画像認識と機械学習	3①	1			1		1			
	スマートセンシング	3①	1			1				1	
	カーボンニュートラル技術	3①	1			1				1	
	統計的学習理論	3②	1			1		1			
デジタル生産工学	3②	1			1				1		
知的財産法	3②	2							1		
スマートシステム制御応用	3③	1			1				1		
スマート資金とビジネス応用	3③	1							1		
自律ロボット	3③	1			1				1		
産業とユニバーサルデザイン	3③	1			1				1		
拡張・リアリティ空間デザイン	3③	1			1				1		
次世代情報通信	3④	1			1				1		
エナジーハーベスティング	3④	1			1				1		
コンピュータと電子回路	3④	1			1				1		
生産者の社会責任	4①	1			1				1		
SDGs実践	2④	1			1				1		
実践スマートシティ論	2④	1			1				1		
ナショナルレジリエンス	3①	1			1				1		
Web・クオミ社会動向分析	3①	1			1				1		
デジタルエコノミーと地域展開	3①	1			1				1		
都市・地域工学	3②	1			1				1		
スマートモビリティと自動運転	3②	1			1				1		
都市・交通デザイン	3②	1			1				1		
社会システム工学	3②	1			1				1		
エビデンスベース政策論	3②	1			1			1			
ソーシャルイノベーション	3③	1			1				1		
社会的合意形成論	3③	1			1				1		
デジタルツインと危機管理	3③	1			1				1		
防災社会	3④	1			1				1		
スマートサプライチェーン	3④	1			1				1		
スマートインフラマネジメント	3④	1			1				1		
ネットワーク・メカニズムデザイン	3④	1			1				2		
フューチャーデザイン	3④	1			1				1		
小計 (54科目)	—	—	0	55	0	10	4	3	3	0	19
総務科目	北陸産業インターンシップ I	3②~③	1			1					
	北陸産業インターンシップ II	3②~③	1			1					
	スマート創成プロジェクト鍛錬 I	4①~②	1			11	4	3	3	1	
	スマート創成プロジェクト鍛錬 II	4①~②	1			11	4	3	3	1	
	海外実践留学	3③~④	1							1	
	国際インターンシップ	3③~④	1							1	
	数理・データサイエンス・AI鍛錬	4①	1							1	
小計 (7科目)	—	—	1	6	0	11	4	3	3	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		助手
高専科目	テクノロジー基礎	1④	1			1				4	
	ファイナンス基礎	1④	1							1	
	ロボティクス基礎	2①	1			1					
	スマート創成化学とバイオロジー	2①	1			1	1				
	技術社会と倫理	2①	1			1					
	フィンテック基礎とビジネス応用	2①	1			1				1	
	マーケティング論	2①	2			1					
	北陸技術経営論	2①	1			1					
	AIと未来の社会学	2②	1			1		1		1	
	未来エネルギー創成	2②	1			1		1		1	
	超スマートシティとSociety 5.0	2②	1			1				4	
	社会変動と労働生産性	2③	1						1	6	
	世界の課題と技術トレンド	2③	1			1				1	
	SDGs基礎	2③	1			1				1	
	IoT技術	2③	1			1				2	
	金融工学	2③	1			1				1	
	情報科学応用	2③	1			1				1	
	社会と工学における最適化	2③	1							1	
	数理行動モデル基礎	2④	1			1				1	
	スマートシステム制御	2④	1			1					
	北陸の都市・農村・文化	2④	1			1				1	
	北陸の農林水産・製造業	2④	1			1				1	
	消費生活論	2④	1		2					1	
	コンピュータとデジタル回路	3①	1							1	
	イノベーション・マネジメント	3④	1							1	
小計 (25科目)	—	—	4	22	0	4	2	1	0	0	19
専門科目	先端医学	2④	1							1	
	未来医学	2④	1							1	
	QOLとWell-being	2④	1			1				1	
	人間拡張とライフ	3①	1			1	1				
	地域の居住空間デザイン	3①	1			1		1			
	ヒューマンインターフェース	3①	1			1				2	
	生活デザイン論	3②	1			1				1	
	超高齢社会と科学技術	3②	1			1		1			
	地域包括ケアと地方創生	3②	1			1				1	
	生活行動とアクティビティ	3②	1			1					
	未来型ヘルスケアシステム	3③	1					1		1	
	人間工学	3③	1			1		1			
	健康スポーツ栄養学	3③	1			1				1	
	スマートウエルネス	3③	1			1				1	
	レギュラトリーサイエンス	3④	1			1				1	
	AI・IoT健康福祉学	3④	1					1		1	
	フィジカル・ブレイン接続	3④	1							1	
	ヘルステック	3④	1			1				1	
	スマート産業論	2③	1			1				1	
	消費者行動と社会	2③	1			1				1	
	実践データサイエンス	2④	1			1				1	
	画像認識と機械学習	3①	1			1		1			
	スマートセンシング	3①	1			1				1	
	カーボンニュートラル技術	3①	1			1				1	
	統計的学習理論	3②	1			1		1			
デジタル生産工学	3②	1			1				1		
知的財産法	3②	2							1		
スマートシステム制御応用	3③	1			1				1		
スマート資金とビジネス応用	3③	1							1		
自律ロボット	3③	1			1				1		
産業とユニバーサルデザイン	3③	1			1				1		
拡張・リアリティ空間デザイン	3③	1			1				1		
次世代情報通信	3④	1			1				1		
エナジーハーベスティング	3④	1			1				1		
コンピュータと電子回路	3④	1			1				1		
生産者の社会責任	4①	1			1				1		
SDGs実践	2④	1			1				1		
実践スマートシティ論	2④	1			1				1		
ナショナルレジリエンス	3①	1			1				1		
Web・クオミ社会動向分析	3①	1			1				1		
デジタルエコノミーと地域展開	3①	1			1				1		
都市・地域工学	3②	1			1				1		
スマートモビリティと自動運転	3②	1			1				1		
都市・交通デザイン	3②	1			1				1		
社会システム工学	3②	1			1				1		
エビデンスベース政策論	3②	1			1			1			
ソーシャルイノベーション	3③	1			1				1		
社会的合意形成論	3③	1			1				1</		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手		
独立科目	融合研究	→→	8			1						
	融合演習	→→	8			1						
	融合試験	→→	8			1						
	小計(3科目)	→→	24	0	0	3	0	0	0	0	0	
合計(333科目)			→	31	367	0	11	4	3	3	0	99
卒業要件及び履修方法												
<p>【卒業要件】</p> <p>以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基礎科目から必修4単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、残る2コアエリアから各1単位以上を含む)、鍛錬科目から必修1単位を含め4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。 <p>【履修方法】</p> <p>本学類では、学生が取り組む未来の科学を創成するための課題は多様、かつ、広範囲となることから、学生は自らが設定する社会課題に必要な知見、技術を備えなく学ぶようにするため、卒業要件を科目区分ごとに工学と社会学の両方の授業科目を必ず履修するように設定しており、学生は工学及び社会学の両方から体系的に履修する仕組みとなっている。また、複数回、指導教員と面談し、「学びの計画書」を作成しながら授業科目を履修する。具体的には、共通教育科目の履修を終え、実践科目や基礎科目の履修を開始する1年次第4クォーターから2年次第2クォーターの段階で、自らの課題設定にあった基礎的な科目を工学、社会学の両方を履修なく学ぶことができるように「学びの計画書Ⅰ」を作成し、授業科目を履修する。その後、2年次の第4クォーターから3年次の第1クォーターにかけ、より専門的な授業科目である、学知科目及び鍛錬科目を学ぶにあたり、履修指導を受けて「学びの計画書Ⅱ」を作成し、必要に応じて、新たな分野の基礎的な知見を養うバックキャストリング学修等の指導を受け、必要な授業科目を履修する。3年次第4クォーターから4年次第2クォーターにかけて卒業研究・演習に関する指導を受けるとともに、異なる分野の専門家や起業家からの指導も受ける。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	その他	准教授	講師	助教	助手		
独立科目	融合研究	4①~④	8			1						
	融合演習	4①~④	8			1						
	融合試験	4①~④	8			1						
	小計(3科目)	→→	24	0	0	3	0	0	0	0	0	
合計(315科目)			→	31	348	0	11	4	5	1	0	118
卒業要件及び履修方法												
<p>以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基礎科目から必修4単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、残る2コアエリアから各1単位以上を含む)、鍛錬科目から必修1単位を含め4単位、確立科目から8単位を含め、計88単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。 <p>【履修方法】</p> <p>本学類では、学生が取り組む未来の科学を創成するための課題は多様、かつ、広範囲となることから、学生は自らが設定する社会課題に必要な知見、技術を備えなく学ぶようにするため、卒業要件を科目区分ごとに工学と社会学の両方の授業科目を必ず履修するように設定しており、学生は工学及び社会学の両方から体系的に履修する仕組みとなっている。また、複数回、指導教員と面談し、「学びの計画書」を作成しながら授業科目を履修する。具体的には、共通教育科目の履修を終え、実践科目や基礎科目の履修を開始する1年次第4クォーターから2年次第2クォーターの段階で、自らの課題設定にあった基礎的な科目を工学、社会学の両方を履修なく学ぶことができるように「学びの計画書Ⅰ」を作成し、授業科目を履修する。その後、2年次の第4クォーターから3年次の第1クォーターにかけ、より専門的な授業科目である、学知科目及び鍛錬科目を学ぶにあたり、履修指導を受けて「学びの計画書Ⅱ」を作成し、必要に応じて、新たな分野の基礎的な知見を養うバックキャストリング学修等の指導を受け、必要な授業科目を履修する。3年次第4クォーターから4年次第2クォーターにかけて卒業研究・演習に関する指導を受けるとともに、異なる分野の専門家や起業家からの指導も受ける。</p>												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	導入科目	大学・社会生活論	1①	1								2	
		データサイエンス基礎	1①	1								1	
		地域概論	1②	1								2	
		小計 (3科目)	—	3	0	0	0	0	0	0	0	5	
	G S 科目	1位 履修へ自己の立ち	現代世界への歴史学的アプローチ	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			グローバル時代の政治経済学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			グローバル時代の社会学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			ケーススタディによる応用倫理学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			地球生物圏と人間	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
		2位 自己へ自己を知り、	哲学 (自我論)	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			パーソナリティ心理学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			グローバル時代の文学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			健康科学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			細胞・分子生物学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								2
		3位 3位履修へ考え、表現、	エクササイズ&スポーツ 実技	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			クリティカル・シンキング	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			価値と情動の認知科学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
		4位 履修へ世界とつながる	芸術と自己表現	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
			スポーツ科学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1
	地域社会と文化人類学		⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
	日本史・日本文化		⑩・⑪・⑫・⑬	1								3	
	異文化間コミュニケーション		⑩・⑪・⑫・⑬	1								2	
	異文化体験 A		—	1								1	
	異文化体験 B		—	2								1	
	異文化体験 C		—	3								1	
	異文化体験 D		—	4								1	
	異文化体験 E		—	5								1	
	5位 履修へ未来の課題	異文化体験 F	—	6								1	
		異文化体験 G	—	7								1	
		異文化体験 H	—	8								1	
		グローバル時代の国際協力	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		グローバル社会と地域の課題	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
	6位 履修へ新しい社会	科学技術と科学方法論	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		統計学から未来を見る	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		環境学とESD	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		生活と社会保険	⑩・⑪・⑫・⑬	1					1			1	
		現代社会と人権	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
	G S 言語科目 (英語)	インテグレートド科学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		A I 入門	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		情報の科学	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		デザイン思考入門	⑩・⑪・⑫・⑬	1								2	
		論理学と数学の基礎	⑩・⑪・⑫・⑬	1								1	
		小計 (38科目)	—	0	66	0	0	0	0	1	0	34	
		(G S 日本語科目)	TOEIC準備 I	1①	1								1
			TOEIC準備 II	1②	1								1
			TOEIC準備 III	1③	1								1
			TOEIC準備 IV	1④	1								1
TOEIC準備 (演習)	⑩・⑪・⑫・⑬		1								1		
English for Academic Purposes I	1①		1								1		
English for Academic Purposes II	1②		1								1		
English for Academic Purposes III	1③		1								1		
English for Academic Purposes IV	1④		1								1		
English for Academic Purposes (Retake)	⑩・⑪・⑫・⑬		1								1		
アカデミック基礎日本語A	1①		1								1		
アカデミック基礎日本語B	1②		1								1		
講義の聴解A	1①・③		1								1		
講義の聴解B	1②・④	1								1			
口頭発表A	1①・③	1								1			
口頭発表B	1②・④	1								1			
上級読解 I A	1①	1								1			
上級読解 I B	1②	1								1			
上級読解 II A	1③	1								1			
上級読解 II B	1④	1								1			
日本語で学ぶ論理 A	1①・③	1								1			
日本語で学ぶ論理 B	1②・④	1								1			
日本事情 A	1①・③	1								1			
日本事情 B	1②・④	1								1			
アカデミック・ライティング A	1①・③	1								1			
アカデミック・ライティング B	1②・④	1								1			
小計 (26科目)	—	10	16	0	0	0	0	0	0	0	9		
共通教育科目	基礎科目	微分積分学 I A	1①	1								1	
		微分積分学 I B	1②	1								1	
		微分積分学 II A	1③	1								1	
		微分積分学 II B	1④	1								1	
		線形代数 I A	1①	1								1	
		線形代数 I B	1②	1								1	
		線形代数 II A	1③	1								1	
		線形代数 II B	1④	1								1	
		統計学 A	1③	1								1	
		統計学 B	1④	1								1	
		物理学 I A	1①	1								1	
		物理学 I B	1②	1								1	
		物理学 II A	1③	1								1	
		物理学 II B	1④	1								1	
		化学 I A	1①	1								1	
		化学 I B	1②	1								1	
		化学 II A	1③	1								1	
		化学 II B	1④	1								1	
小計 (18科目)	—	0	18	0	0	0	0	0	0	0	4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初級言語科目	ドイツ語A1-1	1①・③	1									1
	ドイツ語A1-2	1②・④	1									1
	ドイツ語A2-1	1①・③	1									1
	ドイツ語A2-2	1②・④	1									1
	ドイツ語A3-1	1①・③	1									1
	ドイツ語A3-2	1②・④	1									1
	ドイツ語A4-1	1①・③	1									1
	ドイツ語A4-2	1②・④	1									1
	ドイツ語B-1	2①	1									1
	ドイツ語B-2	2②	1									1
	ドイツ語C-1	2①・③	1									1
	ドイツ語C-2	2②・④	1									1
	フランス語A1-1	1①	1									1
	フランス語A1-2	1②	1									1
	フランス語A2-1	1①	1									1
	フランス語A2-2	1②	1									1
	フランス語A3-1	1③	1									1
	フランス語A3-2	1④	1									1
	フランス語A4-1	1③	1									1
	フランス語A4-2	1④	1									1
	フランス語B-1	2①・③	1									1
	フランス語B-2	2②・④	1									1
	フランス語C-1	2③	1									1
	フランス語C-2	2④	1									1
	ロシア語A1-1	1①	1									1
	ロシア語A1-2	1②	1									1
	ロシア語A2-1	1①	1									1
	ロシア語A2-2	1②	1									1
	ロシア語A3-1	1③	1									1
	ロシア語A3-2	1④	1									1
	ロシア語A4-1	1③	1									1
	ロシア語A4-2	1④	1									1
	ロシア語B-1	2①・③	1									1
	ロシア語B-2	2②・④	1									1
	ロシア語C-1	2①・③	1									1
	ロシア語C-2	2②・④	1									1
	中国語A1-1	1①	1									1
	中国語A1-2	1②	1									1
	中国語A2-1	1①	1									1
	中国語A2-2	1②	1									1
	中国語A3-1	1③	1									1
	中国語A3-2	1④	1									1
	中国語A4-1	1③	1									1
	中国語A4-2	1④	1									1
	中国語B-1	2①・③	1									1
	中国語B-2	2②・④	1									1
	中国語C-1	2③	1									1
	中国語C-2	2④	1									1
	スペイン語A1-1	1①	1									1
	スペイン語A1-2	1②	1									1
	スペイン語A2-1	1①	1									1
	スペイン語A2-2	1②	1									1
	スペイン語A3-1	1③	1									1
	スペイン語A3-2	1④	1									1
	スペイン語A4-1	1③	1									1
	スペイン語A4-2	1④	1									1
	スペイン語B-1	2①	1									1
	スペイン語B-2	2②	1									1
	スペイン語C-1	2③	1									1
	スペイン語C-2	2④	1									1
	日本語A1-1	1①	1									1
	日本語A1-2	1②	1									1
	日本語A2-1	1①	1									1
	日本語A2-2	1②	1									1
	日本語A3-1	1③	1									1
	日本語A3-2	1④	1									1
	日本語A4-1	1③	1									1
	日本語A4-2	1④	1									1
小計(68科目)	—	—	0	68	0	0	0	0	0	0	14	
自由履修科目	石川県の行政	1③~④	2									1
	石川県の市町	1①~②	2									1
	健康論実践D	1④	1									1
	健康論実践E	1④	1									1
	現代社会における保険の制度と役割Ⅰ	1③	1									1
	現代社会における保険の制度と役割Ⅱ	1④	1									1
	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1③~④	2									1
	シェルスクリプト言語論1	1①~②	2									1
	シェルスクリプト言語論2	1③~④	2									1
	キャリアデザインローチング	1①	1									1
	地域協創のアンテナ	1②	1									1
	シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A	1②	1									1
	シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B	1③	1									1
	イノベーションを起こして、起業家になろう1	1①	1									1
	イノベーションを起こして、起業家になろう2	1②	1									1
	イノベーションを起こして、起業家になろう3	1③	1									1
	石川未来プロジェクトⅠ	1②	1									1
石川未来プロジェクトⅡ	1④	1									1	
心と体の健康A	1③	1									1	
心と体の健康B	1④	1									1	
未来デザインブラクティス	1①・②	1									1	
生涯教育および宗教教育をグローバルに考える	1④	1									1	
金沢の歴史と文化	1③~④	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教		助手
	日本の伝統芸能	1②		1							1
	地域創造プロジェクト講義C	1③		1							1
	社会実証から学ぶ環境経済	1④		1							1
	日本国憲法概説	1③		2							1
	日本史要説	2①～②		2							1
	東洋史要説	2③～④		2							1
	ソーシャルビジネス概論	1①		1							1
	行政学の基礎	1①		2							1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1①		1							1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1③		1							1
	コーヒーと社会	1③		1							1
	コーヒーと科学	1④		1							1
	総量・地域活性化演習	1②		1							1
	北陸地域デザイン学	1④		1							1
	地学実験	1②～③		2							1
	生物学実験	1①～②		2							1
	海洋生化学演習	1①		2							1
	地域のトップリーダーを築ぐⅠ	1①		1							1
	地域のトップリーダーを築ぐⅡ	1②		1							1
	ローカルキャリアデザインⅠ	1②		1							1
	ローカルキャリアデザインⅡ	1③		1							1
	環境動態学概説Ⅰ	1③		1							1
	環境動態学概説Ⅱ	1④		1							1
	Pythonデータ分析入門	1④		1							1
	プレゼンテーション演習A	1③		1							1
	プレゼンテーション演習B	1④		1							1
	Unityゲーム開発演習	1③		1							1
	リアルタイムVFX演習	1④		1							1
	動画配信サービスを用いた情報発信演習A	1①		1							1
	動画配信サービスを用いた情報発信演習B	1②		1							1
	シミュレーションを用いた「大規模データ処理」演習A	1②		1							1
	シミュレーションを用いた「大規模データ処理」演習B	1③		1							1
	英語セミナー	2②-2③-2④		1							1
	文学創作実論	1③		1							1
	学域横断的プロジェクト入門	1④		1							1
	ドイツ語A (充実クラスⅠ-1)	1③		1							1
	ドイツ語A (充実クラスⅠ-2)	1④		1							1
	ドイツ語A (充実クラスⅡ-1)	1③		1							1
	ドイツ語A (充実クラスⅡ-2)	1④		1							1
	フランス語A (充実クラスⅠ-1)	1③		1							1
	フランス語A (充実クラスⅠ-2)	1④		1							1
	フランス語A (充実クラスⅡ-1)	1③		1							1
	フランス語A (充実クラスⅡ-2)	1④		1							1
	中国語A (充実クラスⅡ-1)	1③		1							1
	中国語A (充実クラスⅡ-2)	1④		1							1
	小計 (66科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	34
	共通教育科目計 (221科目)	—	13	249	0	0	0	0	1	0	92
専門教育科目	学域GS科目	1①		1							1
	学域GS科目	1②		1							1
	学域GS科目	1③		1							2
	学域GS科目	1④		1							1
	小計 (5科目)	—	6	0	0	0	1	1	0	0	5
学域GS科目	2①・②		1							1	
学域GS科目	2③・④		1							1	
小計 (2科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
専門基礎科目	アントレプレナー基礎	1①		1							1
	アントレプレナー演習Ⅰ	2①		1							1
	産業DX・PBL演習Ⅰ	2①		1							1
	社会調査法	2①		1							1
	数理解科学探求	2①		1							1
	アントレプレナー演習Ⅱ	2②		1							1
	産業DX・PBL演習Ⅱ	2②		1							1
	データ解析演習	2②		1							2
	地方創生に見る社会課題	2③		1							1
	スマートデバイス演習	2③		1							1
	北陸地域創生と社会学	2③		1							1
	数理・データサイエンス・AI実践	2③		1							1
	プログラミングスキル	2③		1							1
	Webサイト設計基礎	2④		1							1
	データ駆動型社会と産業	2④		1							1
	プログラミングスキル実践	2④		1							1
	アプリ開発	2④		1							1
小計 (17科目)	—	5	12	0	4	1	2	1	0	7	
基礎科目	テクノロジー基礎	1④		1							4
	ファイナンス基礎	1④		1							1
	ロボットノバーション	2①		1							1
	スマート創成化学とバイオロジー	2①		1							1
	技術社会と倫理	2①		1							1
	フィンテック基礎とビジネス応用	2①		1							1
	マーケティング論	2①		2							1
	北陸技術経営論	2①		1							1
	AIと未来の社会学	2②		1							1
	未来エネルギー創成	2②		1							1
	超スマートシティとSociety 5.0	2②		1							1
	社会変動と労働生産性	2③		1							1
	世界の課題と技術トレンド	2③		1							1
	SDGs基礎	2③		1							1
	IoT技術	2③		1							1
	金融工学	2③		1							1
	情報科学応用	2③		1							1
	社会と工学における最適化	2③		1							1
	数理解行動モデル基礎	2④		1							1
スマートシステム制御	2④		1							1	
北陸の都市・農村・文化	2④		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助			
			修	修	修	授	授	師	数	手			
専門科目	北陸の農林水産・製造業	2④		1		1					1		
	消費生活論	2④		1		2							
	コンピュータとデジタル回路	3①		1							1		
	イノベーション・マネジメント	3④		1							1		
	小計 (25科目)	—	4	22	0	7	2	2	2	0	10		
	学知科目	先端医学	2④		1							1	
		未来医科学	2④		1							1	
		QOLとWell-being	2④		1		1						
		人間拡張とライフ	3①		1		1	1					
		地域の居住空間デザイン	3①		1				1				
		ヒューマンインターフェース	3①		1							2	
		生活デザイン論	3②		1							1	
		超高齢社会と科学技術	3②		1		1						
		地域包括ケアと地方創生	3②		1					1		1	
		生活行動とアクティビティ	3②		1		1						
		未来型ヘルスケアシステム	3③		1					1		1	
		人間工学	3③		1		1						
		健康スポーツ栄養学	3③		1		1						
		スマートウエルネス	3③		1		1						
		レギュラトリーサイエンス	3④		1		1						
		AI・IoT健康福祉学	3④		1					1		1	
		フィジカル・ブレイン接続	3④		1							1	
		ヘルステック	3④		1			1					
		スマート産業コアエリア	スマート産業論	2③		1		1					
			消費者行動と社会	2③		1				1			
実践データサイエンス			2④		1							1	
画像認識と機械学習			3①		1		1						
スマートセンシング			3①		1		1						
カーボンニュートラル技術			3①		1		1						
統計的学習理論			3②		1		1						
デジタル生産工学	3②			1		1							
知的財産法	3②			2							1		
スマートシステム制御応用	3③			1		1							
スマート資金とビジネス応用	3③			1							1		
自律ロボット	3③			1		1							
産業とユニバーサルデザイン	3③			1				1					
拡張・リアリティ空間デザイン	3③			1							1		
次世代情報通信	3④			1		1							
エナジーハーベスティング	3④			1		1							
コンピュータと電子回路	3④			1							1		
生産者の社会責任	4①			1		1							
スマート社会コアエリア	SDGs実践		2④		1							1	
	実践スマートシティ論		2④		1		1		1				
	ナショナルレジリエンス		3①		1					1			
	Web・クオミ社会動向分析		3①		1							1	
	デジタルエコノミーと地域展開		3①		1							1	
	都市・地域工学		3②		1							1	
	スマートモビリティと自動運転		3②		1		1						
	都市・交通デザイン	3②		1				1					
	社会システム工学	3②		1					1		1		
	エビデンスベース政策論	3②		1					1				
	ソーシャルイノベーション	3③		1							1		
	社会的合意形成論	3③		1		1							
	デジタルツインと危機管理	3③		1					1				
	低炭素社会	3④		1		1							
	スマートサプライチェーン	3④		1			1						
	スマートインフラマネジメント	3④		1							1		
	ネットワーク・メカニズムデザイン	3④		1							2		
	フューチャーデザイン	3④		1		1		1					
	小計 (54科目)	—	0	55	0	10	4	4	2	0	18		
	継続科目	北陸産業インターンシップ I	→		1		1						
		北陸産業インターンシップ II	→		1		1						
		スマート創成プロジェクト継続 I	→		1		11	4	4	2			
		スマート創成プロジェクト継続 II	→		1		11	4	4	2			
		海外実践留学	→		1							1	
		国際インターンシップ	→		1							1	
数理・データサイエンス・AI継続		4①		1							1		
小計 (7科目)		—	1	6	0	11	4	4	2	0	3		
確立科目	融合研究	→		8		1							
	融合演習	→		8		1							
	融合試験	→		8		1							
	小計 (3科目)	—	0	24	0	3	0	0	0	0	0		
合計 (334科目)	—	31	388	0	11	4	4	2	0	111			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修 単 位	選 修 単 位	自 由 単 位	教 授	准 教 授	助 教 員	助 手	
卒業要件及び履修方法										
<p>【卒業要件】 以下の要件を満たし、合計124単位以上(融合試験履修者は130単位以上)を修得した者。 ・共通教育科目において導入科目から3単位、GS科目に配置する1群から5群の各群から2単位以上、6群から3単位を含む計15単位、GS言語科目から8単位、基礎科目から8単位を含め、計36単位以上を修得。 ・専門教育科目において学域GS科目6単位、学域GS言語科目2単位、実践科目から必修5単位を含め13単位、基盤科目から必修4単位を含め19単位、学知科目から26単位(同一のコアエリアから13単位以上、かつ、異なる2コアエリアから各1単位以上を含む)、鍛錬科目から必修1単位を含め4単位、確立科目から8単位を含め、計68単位以上(融合試験履修者は94単位以上)を修得。</p> <p>【履修方法】 本学類では、学生が取り組む未来の科学を創成するための課題は多岐、かつ、広範囲となることから、学生は自らが設定する社会課題に必要な知見、技術を幅広く学ぶようにするため、卒業要件を科目区分ごとに工学と社会学の両方の授業科目を必ず履修するよう設定しており、学生は工学及び社会学の両方から体系的に履修する仕組みとなっている。また、複数回、指導教員と面談し、「学びの計画書」を作成しながら授業科目を履修する。具体的には、共通教育科目の履修を終え、実践科目や基盤科目の履修を開始する1年次第4クォーターから2年次第2クォーターの段階で、自らの課題設定にあった基礎的な科目を工学、社会学の両方を偏りなく学ぶことができるように「学びの計画書Ⅰ」を作成し、授業科目を履修する。その後、2年次の第4クォーターから3年次の第1クォーターにかけて、より専門的な授業科目である、学知科目及び鍛錬科目を学ぶにあたり、履修指導を受けて「学びの計画書Ⅱ」を作成し、必要に応じて、新たな分野の基礎的な知見を養うバックカasting学修等の指導を受け、必要な授業科目を履修する。3年次第4クォーターから4年次第2クォーターにかけて卒業研究・演習に関する指導を受けるとともに、異なる分野の専門家や起業家からの指導も受ける。</p>										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各種の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**履修時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために去開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの差を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

- ・共通教育科目の見直しのため、「イノベーションを起こして、起業家になろう3」を「いしかわ金沢学」に変更し、開講期を「1③」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「道徳教育および宗教教育をグローバルに考える」を「教職入門」に変更し、開講期を「1④」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「地域創造プロジェクト講義C」を「防災学入門」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「日本史要説」を「地域史料から描きなおす日本史」に変更し、開講期を「2①～②」から「1③」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「東洋史要説」を「文明起源の考古学」に変更し、開講期を「2③～④」から「1④」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「行政学の基礎」を「株論入門」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「コーヒーと社会」を「コーヒーと社会1」に変更し、開講期を「1③」から「1①」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「コーヒーと科学」を「コーヒーと科学1」に変更し、開講期を「1④」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「北陸地域デザイン学」を「実践アントレプレナー学」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「Pythonデータ分析入門」を「RとQuartoではじめるデータサイエンス」に変更し、開講期を「1③」から「1②」に変更。
- ・共通教育科目の見直しのため、「リアルタイムVFX演習」を「Unreal Engineゲーム開発演習」に変更し、開講期を「1④」から「1②」に変更。
- ・全学的な語学教育改革のため、「英語セミナー」を「融合先導実践演習A」に変更し、開講期を「1①・②・③・④」から「1②・④」に変更。
- ・全学的な語学教育改革のため、「ドイツ語A（充実クラスⅠ-1）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「ドイツ語A（充実クラスⅠ-2）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「ドイツ語A（充実クラスⅡ-1）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「ドイツ語A（充実クラスⅡ-2）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「フランス語A（充実クラスⅠ-1）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「フランス語A（充実クラスⅠ-2）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「フランス語A（充実クラスⅡ-1）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「フランス語A（充実クラスⅡ-2）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「中国語A（充実クラスⅡ-1）」を廃止。
- ・全学的な語学教育改革のため、「中国語A（充実クラスⅡ-2）」を廃止。

- <専門教育科目>
- ・専門教育科目の見直しのため、「学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)」、「学域GS言語科目Ⅲ(Interaction)」、「学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)」、「学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)」、「学域GS言語科目Ⅲ(Reading and Discussion)」を追加。
 - ・授業実施に係る変更のため、「産業DX・PBL演習Ⅰ」の教員配置を助教1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「社会調査法」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「産業DX・PBL演習Ⅱ」の教員配置を助教1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「データ解析演習」の教員配置を兼任2から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「スマートデバイス演習」の教員配置を准教授1から講師1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「北陸地域生と社会学」の教員配置を兼任1・兼任1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「Webサイト設計基礎」の教員配置を兼任1から講師1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「スマート創成化学とバイオロジー」の教員配置を教授1・准教授1から准教授1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「北陸技術経営論」の教員配置を講師1から教授1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「AIと未来の社会学」の教員配置を准教授1・助教1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「未来エネルギー創成」の教員配置を助教1・兼任1から教授1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「超スマートシティとSociety 5.0」の教員配置を教授1から兼任4に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「社会変動と労働生産性」の教員配置を兼任1から講師1・兼任6に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「世界の課題と技術トレンド」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「IoT技術」の教員配置を兼任1から兼任2に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「数理解動モデル基礎」の教員配置を講師1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「北陸の都市・農村・文化」の教員配置を教授1・兼任1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「消費生活論」の教員配置を教授2から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「QOLとWell-being」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「地球包括ケアと地方創生」の教員配置を助教1・兼任1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「スマート産業論」の教員配置を教授1から兼任1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「実践スマートシティ論」の教員配置を教授1・講師1から教授1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅰ」の教員配置を教授11・准教授4・講師4・助教2から教授11・准教授4・講師5・助教1に変更。
 - ・授業実施に係る変更のため、「スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅱ」の教員配置を教授11・准教授4・講師4・助教2から教授11・准教授4・講師5・助教1に変更。
 - ・担当教員の異動に伴い、「データ駆動型社会と産業」の教員配置を助教1・兼任1から兼任2に変更。
 - ・担当教員の異動に伴い、「ナショナルレジリエンス」の教員配置を助教1から兼任1に変更。
 - ・担当教員の異動に伴い、「デジタルツインと危機管理」の教員配置を助教1から兼任1に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「社会調査法」を「2年10」から「2年20」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「データ解析演習」を「2年20」から「2年30」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「地方創生に関する社会課題」を「2年20」から「2年30」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「マーケティング論」を「2年10」から「2年20」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「北陸技術経営論」を「2年10」から「2年40」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「SDGs基礎」を「2年30」から「2年20」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「金融工学」を「2年30」から「2年40」に変更。
 - ・配当年次の見直しのため、「社会と工学における最適化」を「2年30」から「3年30」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	303 科目	0 科目	333 科目	30 科目 [0]	285 科目 [△18]	0 科目 [0]	315 科目 [△18]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	イノベーションを起こして、起業家になろう4	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	香りと日本文化	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	TOEIC準備(演習)	1	2①・②・③・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
4	口頭発表A	1	1①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
5	口頭発表B	1	1②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
6	ドイツ語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
7	ドイツ語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
8	フランス語C-1	1	2③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
9	フランス語C-2	1	2④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
10	ロシア語A1-1	1	1①	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
11	ロシア語A1-2	1	1②	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
12	ロシア語A2-1	1	1①	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
13	ロシア語A2-2	1	1②	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
14	ロシア語A3-1	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
15	ロシア語A3-2	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
16	ロシア語A4-1	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
17	ロシア語A4-2	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
18	ロシア語B-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
19	ロシア語B-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
20	ロシア語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
21	ロシア語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
22	中国語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
23	中国語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
24	朝鮮語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
25	朝鮮語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
26	ラテン語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
27	ラテン語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
28	スペイン語C-1	1	2①・③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
29	スペイン語C-2	1	2②・④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
30	ドイツ語A(充実クラスI-1)	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
31	ドイツ語A(充実クラスI-2)	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
32	ドイツ語A(充実クラスII-1)	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有

33	ドイツ語A (充実クラスⅡ-2)	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
34	フランス語A (充実クラスⅠ-1)	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
35	フランス語A (充実クラスⅠ-2)	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
36	フランス語A (充実クラスⅡ-1)	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
37	フランス語A (充実クラスⅡ-2)	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
38	中国語A (充実クラスⅡ-1)	1	1③	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有
39	中国語A (充実クラスⅡ-2)	1	1④	一般	選択	全学的な語学教育改革のため。代替措置有

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っている。廃止科目とほぼ同数の新設科目を設けているため、学生に影響はないと考える。
 学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

・ 全学的な語学教育の見直うにあたり、各言語における授業科目間の内容の調整を行い、各言語数科目が廃止となった。廃止された内容についても、初習言語科目として必要なレベルの学修ができるように内容の調整を行っており、学生に不利益はない。また、開講科目数についても、卒業に必要な単位数が履修できるだけの科目数を開講しており、問題はない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{39}{333} = \boxed{11.71}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 センター新設のため (5) センター新設のため (6)
	校舎敷地	728,946 m ² 844,686 m² 728,946 m ² 730,408 m ²	0 m ²	0 m ²	728,946 m ² 844,686 m² 728,946 m ² 730,408 m ²	
	運動場用地	115,740 m ²	0 m ²	0 m ²	115,740 m ²	
	小 計	844,686 m ² 960,426 m² 844,686 m ² 846,148 m ²	0 m ²	0 m ²	844,686 m ² 960,426 m² 844,686 m ² 846,148 m ²	
	そ の 他	1,562,710 m ² 1,718,992 m² 1,717,530 m ²	0 m ²	0 m ²	1,562,710 m ² 1,718,992 m² 1,717,530 m ²	
	合 計	2,407,396 m ² 2,523,136 m² 2,563,678 m ²	0 m ²	0 m ²	2,407,396 m ² 2,523,136 m² 2,563,678 m ²	
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 建物増築のため (4) 建物増築のため (5)	
	284,147 m ² 284,135 m² 283,999 m ² (284,147 m ²) (284,135 m²) (283,999 m²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	284,147 m ² 284,135 m² 283,999 m ² (284,147 m ²) (284,135 m²) (283,999 m²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 教室等用途変更・整理 のため (5) 教室等用途変更・整理 のため (6)
	182室 183室 162室	305室 307室 208室	954室 946室 1,180室	13室 11室 (補助職員 0人)	6室 8室 (補助職員 0人)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			
	融合学域 スマート創成科学類		21 室			

(5)	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	[うち外国書] 種	[うち外国書] 種					
図書・設備	融合学域スマート創成科学類	1,943,945 [679,770]	43,587 [15,888]	10,409 [8,826]	8,397	10,605	212	373	専攻単位で特定不能のため、大学全体の数量 (4) 購入・廃棄等のため (5) 購入・廃棄等のため (6)	
		1,932,498 [678,510]	43,180[15,736] 34,666 [12,153]	10,710 [9,166] 10,888 [9,388]	8,376 8,372	10,104 9,693				
	1,928,196 [680,849]	34,760 [12,152]	10,744 [9,292]	8,336	8,986					
	1,914,343 [678,557]	35,708 [13,079]	10,744 [9,292]	8,336	8,986					
計	1,943,945 [679,770]	43,587 [15,888]	10,409 [8,826]	8,397	10,605	212	373			
	1,932,498 [678,510]	43,180[15,736] 34,666 [12,153]	10,710 [9,166] 10,888 [9,388]	8,376 8,372	10,104 9,693					
1,928,196 [680,849]	34,760 [12,152]	10,744 [9,292]	8,336	8,986						
1,914,343 [678,557]	35,708 [13,079]	10,744 [9,292]	8,336	8,986						
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 椅子破損および書架 入れ替え等のため(4) 椅子破損および座席レ イアウト再編のため (5) 座席レイアウト再編の ため(6)			
	19,794㎡		2,116 2,076 2,194 2,185		1,644,514 1,633,859 1,640,536					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,295㎡		可動屋根付プール (1,193㎡) 弓 道 場 (162 m ²)							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円		
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で**記入してください。
 なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
融合学域		165	3年次40	450		0.95	-							
先導学類	4	55	3年次25	270	学士(学術)	0.87	-	-	令和3	石川県金沢市角間町				
観光デザイン学類	4	55	3年次15	105	学士(学術)	1.05	-	令和5 令和6	令和4	同上	令和5年度入学定員変更(5) 令和6年度入学定員変更(35)			
スマート創成科学類	4	55	-	75	学士(学術)	1.08	-	令和6	令和5	同上	令和6年度入学定員変更(35)			
人間社会学域		668	-	2,617		1.09	1.03							
人文学類	4	138	-	555	学士(文学)	1.11	1.04	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(Δ4) 令和4年度入学定員変更(Δ3)			
法学類	4	150	-	615	学士(法学)	1.06	1.01	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ10) 令和4年度入学定員変更(Δ10) 令和5年度編入学定員変更(Δ5)			
経済学類	4	131	-	524	学士(経済学)	1.07	1.03	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ4)			
学校教育学類 共同教員養成課程	4	85	-	255	学士(教育学)	1.01	1.01	-	令和4	同上				
地域創造学類	4	83	-	342	学士(地域創造学)	1.08	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和5年度入学定員変更(Δ5)			
国際学類	4	81	-	326	学士(国際学)	1.21	1.04	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和4年度入学定員変更(Δ2)			
学校教育学類	4	-	-	-	学士(教育学)			-	平成20	同上	令和4年度学生募集停止			
理工学域		619	3年次40	2,476		1.08	1.03							
数物科学類	4	78	3年次5	330	学士(理学)	1.08	1.02	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和5年度入学定員変更(Δ4)			
物質化学類	4	78	3年次4	322	学士(理学・工学)	1.06	1.03	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和5年度入学定員変更(Δ1)			
機械工学類	4	94	3年次10	402	学士(工学)	1.13	1.01	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ3) 令和5年度入学定員変更(Δ3)			
フロンティア工学類	4	103	3年次5	430	学士(工学)	1.06	1.04	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ3) 令和5年度入学定員変更(Δ4)			
電子情報通信学類	4	116	3年次7	362	学士(工学)	1.07	1.03	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ10) 令和4年度入学定員変更(Δ10) 令和5年度編入学定員変更(Δ5)			
地球社会基盤学類	4	94	3年次7	398	学士(理学・工学)	1.06	1.02	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和5年度入学定員変更(Δ4)			
生命理工学類	4	56	3年次2	232	学士(理学・工学)	1.03	1.00	-	平成30	同上	令和3年度入学定員変更(Δ2) 令和5年度入学定員変更(Δ4)			
機械工学類(旧)	4	-	-	-	学士(工学)			-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止			
電子情報科学類	4	-	-	-	学士(工学)			-	平成20	同上	平成30年度学生募集停止			
医薬保健学域		384	2年次5 3年次65	1,895		1.01	1.00							
医学類	6	112	2年次5	697	学士(医学)	1.02	1.01	令和2 令和4	平成20	石川県金沢市宝町13-1	入学定員変更(12) ※臨時定員増継続			
薬学類	6	65	-	330	学士(薬学)	1.03	1.03	-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度入学定員変更(30)			
医薬科学類	4	18	-	72	学士(生命薬科学・薬学)	1.00	-	-	令和3	同上				
保健学類				796		0.99	-							
看護学専攻	4	79	3年次4	324	学士(看護学)	0.99	-	-	平成20	石川県金沢市小立野5-11-80	令和3年度入学定員変更(Δ1) 令和5年度編入学定員変更(Δ6)			
診療放射線技術専攻	4	40	3年次3	166	学士(保健学)	1.00	-	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(Δ2)			
検査技術科学専攻	4	40	3年次3	166	学士(保健学)	1.01	0.99	-	平成20	同上	令和5年度編入学定員変更(Δ2)			
理学療法学専攻	4	15	3年次5	70	学士(保健学)	0.97	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ5)			
作業療法学専攻	4	15	3年次5	70	学士(保健学)	0.91	-	-	平成20	同上	令和3年度入学定員変更(Δ5)			
創薬科学類	4	-	-	-	学士(創薬科学)			-	平成20	石川県金沢市角間町	令和3年度学生募集停止			

大学全体	1836	2年次5 3年次100	7,438	-	-	-
------	------	----------------	-------	---	---	---

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<融合学域 スマート創成科学類>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	山岸 雅子 <令和5年4月> 学術博士	大学・社会生活論 アカデミックスキル 消費生活論 生活行動とアクティビティ 低炭素社会 フューチャーデザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		森本 章治 <令和5年4月> 博士(工学)	超スマートシティとSociety 5.0 世界の課題と技術トレンド スマート産業論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	飯山 宏一 <令和5年4月> 博士(工学)	テクノロジー基礎※ スマートセンシング エナジーハーベスティング スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合試験
		坂本 二郎 <令和5年4月> 博士(学術)	アントレプレナー基礎 プログラミングスキル実践 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合演習
専	教授	菅沼 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	次世代情報通信 実践スマートシティ論※ スマートモビリティと自動運転 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		瀧 健太郎 <令和5年4月> 博士(工学)	スマート創成化学とバイオロジー※ カーボンニュートラル技術 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	田中 志信 <令和5年4月> 博士(工学)	プレゼン・ディベート論 人間拡張とライフ※ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		寺沢 なお子 <令和5年4月> 博士(学術)	社会調査法 QOLとWell-being 健康スポーツ栄養学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	山岸 雅子 <令和5年4月> 学術博士	消費生活論 生活行動とアクティビティ 低炭素社会 フューチャーデザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		森本 章治 <令和5年4月> 博士(工学)	超スマートシティとSociety 5.0 世界の課題と技術トレンド スマート産業論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	飯山 宏一 <令和5年4月> 博士(工学)	テクノロジー基礎※ スマートセンシング エナジーハーベスティング スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合試験
		坂本 二郎 <令和5年4月> 博士(学術)	アントレプレナー基礎 プログラミングスキル実践 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合演習
専	教授	菅沼 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	次世代情報通信 実践スマートシティ論※ スマートモビリティと自動運転 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		瀧 健太郎 <令和5年4月> 博士(工学)	スマート創成化学とバイオロジー※ カーボンニュートラル技術 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	田中 志信 <令和5年4月> 博士(工学)	人間拡張とライフ※ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		寺沢 なお子 <令和5年4月> 博士(学術)	社会調査法 QOLとWell-being 健康スポーツ栄養学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	山岸 雅子 <令和5年4月> 学術博士	生活行動とアクティビティ 低炭素社会 フューチャーデザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		森本 章治 <令和5年4月> 博士(工学)	スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	飯山 宏一 <令和5年4月> 工学博士	テクノロジー基礎※ 未来エネルギー創成 スマートセンシング エナジーハーベスティング スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合試験
		坂本 二郎 <令和5年4月> 博士(学術)	アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ プログラミングスキル実践 北陸の農林水産・製造業 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合演習
専	教授	菅沼 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	次世代情報通信 実践スマートシティ論 スマートモビリティと自動運転 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		瀧 健太郎 <令和5年4月> 博士(工学)	カーボンニュートラル技術 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	田中 志信 <令和5年4月> 博士(工学)	人間拡張とライフ※ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
		寺沢 なお子 <令和5年4月> 博士(学術)	健康スポーツ栄養学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和5年4月> 博士(文学)
		北陸地域創生と社会学 北陸の都市・農村・文化 北陸の農林水産・製造業 消費生活論 社会的合意形成論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	山本 茂 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報科学応用 スマートシステム制御 スマートシステム制御応用 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合研究
専	教授	米山 猛 <令和5年4月> 博士(工学)
		アントレプレナー基礎 アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 技術社会と倫理 デジタル生産工学 生産者の社会責任 北陸産業インターンシップⅠ 北陸産業インターンシップⅡ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	田中 利恵 <令和5年4月> 博士(保健学)
		超高齢社会と科学技術 画像認識と機械学習 統計的学習理論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	野村 章洋 <令和5年4月> 博士(医学)
		スマート創成化学とバイオロジー※ 人間拡張とライフ※ スマートウエルネス ヘルステック スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	村越 道生 <令和5年4月> 博士(工学)
		人間工学 レギュラトリーサイエンス スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	米陀 佳祐 <令和5年4月> 博士(情報科学)
		スマートデバイス演習 ロボットイノベーション AIと未来の社会学 自律ロボット スマートサプライチェーン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	有賀 三夏 <令和5年4月> Master of Arts (米国)
		AI入門 デザイン思考 産業とユニバーサルデザイン フューチャーデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和5年4月> 博士(文学)
		北陸地域創生と社会学 北陸の都市・農村・文化 北陸の農林水産・製造業 消費生活論 社会的合意形成論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	山本 茂 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報科学応用 スマートシステム制御 スマートシステム制御応用 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合研究
専	教授	米山 猛 <令和5年4月> 博士(工学)
		アントレプレナー演習Ⅰ アントレプレナー演習Ⅱ 技術社会と倫理 デジタル生産工学 生産者の社会責任 北陸産業インターンシップⅠ 北陸産業インターンシップⅡ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	田中 利恵 <令和5年4月> 博士(保健学)
		超高齢社会と科学技術 画像認識と機械学習 統計的学習理論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	野村 章洋 <令和5年4月> 博士(医学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 スマート創成化学とバイオロジー※ 人間拡張とライフ※ スマートウエルネス ヘルステック スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	村越 道生 <令和5年4月> 博士(工学)
		人間工学 レギュラトリーサイエンス スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	米陀 佳祐 <令和5年4月> 博士(情報科学)
		スマートデバイス演習 ロボットイノベーション AIと未来の社会学 自律ロボット スマートサプライチェーン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	有賀 三夏 <令和5年4月> 博士(知識科学)
		デザイン思考 産業とユニバーサルデザイン フューチャーデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	眞鍋 知子 <令和5年4月> 博士(文学)
		社会的合意形成論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	教授	山本 茂 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報科学応用 スマートシステム制御 スマートシステム制御応用 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ 融合研究
専	教授	米山 猛 <令和5年4月> 博士(工学)
		技術社会と倫理 北陸技術経営論 デジタル生産工学 生産者の社会責任 北陸産業インターンシップⅠ 北陸産業インターンシップⅡ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	田中 利恵 <令和5年4月> 博士(保健学)
		超高齢社会と科学技術 画像認識と機械学習 統計的学習理論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	野村 章洋 <令和5年4月> 博士(医学)
		スマート創成化学とバイオロジー※ 人間拡張とライフ※ スマートウエルネス ヘルステック スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	村越 道生 <令和5年4月> 博士(工学)
		人間工学 レギュラトリーサイエンス スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	准教授	米陀 佳祐 <令和5年4月> 博士(情報科学)
		アカデミックスキル プレゼン・ディベート論 ロボットイノベーション 自律ロボット スマートサプライチェーン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	有賀 三夏 <令和5年4月> 博士(知識科学)
		デザイン思考 産業とユニバーサルデザイン フューチャーデザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	白石 英巨 <令和5年4月> 博士(工学) 地方創生にみる社会課題 数理行動モデル基礎 地域の居住空間デザイン 実践スマートシティ論※ 都市・交通デザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	ZHANG JING <令和5年4月> 博士(マネジメント) マーケティング論 北陸技術経営論 消費者行動と社会 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	伊 一喜 <令和5年4月> 博士(社会福祉学) 生活と社会保障 AIと未来の社会学 地域包括ケアと地方創生 未来型ヘルスケアシステム AI・IoT健康福祉学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	原田 魁成 <令和5年4月> 博士(経済学) データサイエンス基礎 数理・データサイエンス基礎及び演習 数理・データサイエンス・AI実践 エビデンスベース政策論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	森崎 裕磨 <令和5年4月> 博士(工学) 産業DX・PBL演習Ⅰ 産業DX・PBL演習Ⅱ データ駆動型社会と産業 未来エネルギー創成 ナショナルレジリエンス デジタルツインと危機管理 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
兼任	教授	大竹 茂樹 <令和5年4月> 医学博士 地域包括ケアと地方創生
兼任	教授	秋田 純一 <令和5年4月> 博士(工学) イノベーションを起こして、起業家になろう1 イノベーションを起こして、起業家になろう3 Webサイト設計基礎 コンピュータとデジタル回路 ヒューマンインターフェース コンピュータと電子回路

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	白石 英巨 <令和5年4月> 博士(工学) 地方創生にみる社会課題 数理行動モデル基礎 地域の居住空間デザイン 実践スマートシティ論※ 都市・交通デザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	ZHANG JING <令和5年4月> 博士(マネジメント) マーケティング論 北陸技術経営論 消費者行動と社会 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	伊 一喜 <令和5年4月> 博士(社会福祉学) 生活と社会保障 AIと未来の社会学 地域包括ケアと地方創生 未来型ヘルスケアシステム AI・IoT健康福祉学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	原田 魁成 <令和5年4月> 博士(経済学) 数理・データサイエンス・AI実践 エビデンスベース政策論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	森崎 裕磨 <令和5年4月> 博士(工学) 産業DX・PBL演習Ⅰ 産業DX・PBL演習Ⅱ データ駆動型社会と産業 未来エネルギー創成 ナショナルレジリエンス デジタルツインと危機管理 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
兼任	教授	大竹 茂樹 <令和5年4月> 医学博士 大学・社会生活論 地域包括ケアと地方創生
兼任	教授	秋田 純一 <令和5年4月> 博士(工学) イノベーションを起こして、起業家になろう3 Webサイト設計基礎 コンピュータとデジタル回路 ヒューマンインターフェース コンピュータと電子回路

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	白石 英巨 <令和5年4月> 博士(工学) 地方創生にみる社会課題 地域の居住空間デザイン 都市・交通デザイン スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	ZHANG JING <令和5年4月> 博士(マネジメント) マーケティング論 社会実動と労働生産性 消費者行動と社会 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	二木 恵 <令和6年4月> 博士(工学) スマートデバイス演習 Webサイト設計基礎 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	助教	伊 一喜 <令和5年4月> 博士(社会福祉学) 生活と社会保障 未来型ヘルスケアシステム AI・IoT健康福祉学 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
専	講師	原田 魁成 <令和5年4月> 博士(経済学) 数理・データサイエンス・AI実践 エビデンスベース政策論 スマート創成プロジェクト鍛練Ⅰ スマート創成プロジェクト鍛練Ⅱ
兼任	助教	森崎 裕磨 <令和5年4月> 博士(工学) データ駆動型社会と産業 ナショナルレジリエンス Web・クチコミ社会動向分析 デジタルツインと危機管理
兼任	教授	秋田 純一 <令和5年4月> 博士(工学) デザイン思考 IoT技術 コンピュータとデジタル回路 ヒューマンインターフェース コンピュータと電子回路

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 信秀 <令和5年4月> 博士(法学)
		知的財産法
兼任	教授	尾島 恭子 <令和5年4月> 修士(家政学)
		地域概論
		生活デザイン論
兼任	教授	金間 大介 <令和5年4月> 博士(工学)
		イノベーション基礎
		社会変動と労働生産性
		イノベーション・マネジメント
兼任	教授	河崎 洋志 <令和5年4月> 博士(医学)
		先端医学
		フィジカル・ブレイン接続
兼任	教授	北山 哲士 <令和5年4月> 博士(工学)
		IoT技術
		社会と工学における最適化
		数値・データサイエンス・AI鍛錬
兼任	教授	寒河江 雅彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		デジタルエコノミーと地域展開
兼任	教授	佐藤 賢二 <令和5年4月> 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	佐藤 正英 <令和5年4月> 博士(理学)
		プログラミングスキル
		拡張・リアリティ空間デザイン
兼任	教授	佐無田 光 <令和5年4月> 博士(経済学)
		地域概論
		北陸地域創生と社会学
		北陸の都市・農村・文化
		北陸の農林水産・製造業
兼任	教授	沈 振江 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市・地域工学
兼任	教授	中山 晶一朗 <令和5年4月> 博士(工学)
		数値・データサイエンス基礎及び演習
		ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	教授	松田 真希子 <令和5年4月> 博士(学術)
		日本語A1-1
		日本語A1-2
		日本語A2-1
		日本語A2-2
		日本語A3-1
		日本語A3-2
		日本語A4-1
		日本語A4-2
		Web・クテコミ社会動向分析
兼任	教授	宮地 利明 <令和5年4月> 博士(医学)
		AI・IoT健康福祉学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 信秀 <令和5年4月> 博士(法学)
		知的財産法
兼任	教授	尾島 恭子 <令和5年4月> 修士(家政学)
		地域概論
		生活デザイン論
兼任	教授	金間 大介 <令和5年4月> 博士(工学)
		イノベーション基礎
		社会変動と労働生産性
		イノベーション・マネジメント
兼任	教授	河崎 洋志 <令和5年4月> 博士(医学)
		先端医学
		フィジカル・ブレイン接続
兼任	教授	北山 哲士 <令和5年4月> 博士(工学)
		IoT技術
		社会と工学における最適化
		数値・データサイエンス・AI鍛錬
兼任	教授	寒河江 雅彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		デジタルエコノミーと地域展開
兼任	教授	佐藤 賢二 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス基礎
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	佐藤 正英 <令和5年4月> 博士(理学)
		プログラミングスキル
		拡張・リアリティ空間デザイン
兼任	教授	佐無田 光 <令和5年4月> 博士(経済学)
		地域概論
		北陸地域創生と社会学
		北陸の都市・農村・文化
		北陸の農林水産・製造業
兼任	教授	沈 振江 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市・地域工学
兼任	教授	中山 晶一朗 <令和5年4月> 博士(工学)
		数値・データサイエンス基礎及び演習
		ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	講師	松田 真希子 <令和5年4月> 博士(学術)
		Web・クテコミ社会動向分析
兼任	教授	宮地 利明 <令和5年4月> 博士(医学)
		AI・IoT健康福祉学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大友 信秀 <令和5年4月> 博士(法学)
		知的財産法
兼任	教授	尾島 恭子 <令和5年4月> 修士(家政学)
		地域概論
		消費生活論
		生活デザイン論
兼任	教授	金間 大介 <令和5年4月> 博士(工学)
		イノベーション基礎
		社会変動と労働生産性
		イノベーション・マネジメント
兼任	教授	河崎 洋志 <令和5年4月> 博士(医学)
		先端医学
		フィジカル・ブレイン接続
兼任	教授	北山 哲士 <令和5年4月> 博士(工学)
		IoT技術
		社会と工学における最適化
		数値・データサイエンス・AI鍛錬
兼任	教授	寒河江 雅彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		デジタルエコノミーと地域展開
兼任	教授	佐藤 賢二 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス基礎
		プログラミングスキル
		テクノロジー基礎※
兼任	教授	佐藤 正英 <令和5年4月> 博士(理学)
		プログラミングスキル
		拡張・リアリティ空間デザイン
兼任	教授	佐無田 光 <令和5年4月> 博士(経済学)
		地域概論
		北陸の都市・農村・文化
		北陸の農林水産・製造業
兼任	教授	沈 振江 <令和5年4月> 博士(工学)
		都市・地域工学
兼任	教授	中山 晶一朗 <令和5年4月> 博士(工学)
		数値・データサイエンス基礎及び演習
		ネットワーク・メカニズムデザイン
		超スマートシティとSociety 5.0
		ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	教授	宮地 利明 <令和5年4月> 博士(医学)
		AI・IoT健康福祉学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	米田 隆 <令和5年4月> 博士(医学)	健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 未来型ヘルスケアシステム 国際インターナシッブ
		健康論実践E
兼任 教授	足立 由美 <令和5年4月> 博士(医学)	健康論実践E
		健康論実践E
兼任 教授	太田 亨 <令和5年4月> 修士(文学)	講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任 教授	大野 浩之 <令和5年4月> 博士(理学)	クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 Society 5.0 概論A Society 5.0 概論B
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B クラウド時代のハトソのレ
兼任 教授	大藪 加奈 <令和5年4月> Ph. D. (英国)	English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake) 学域65言語科目Ⅲ(Interaction)
兼任 教授	垣内 康孝 <令和5年4月> 博士(学術)	科学技術と科学方法論
兼任 教授	鎌田 啓一 <令和5年4月> 理学博士	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任 教授	小林 恵美子 <令和5年4月> Ph. D. (米国)	異文化間コミュニケーション
兼任 教授	阪上 るり子 <令和5年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)	フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	米田 隆 <令和5年4月> 博士(医学)	健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 未来型ヘルスケアシステム 国際インターナシッブ
		健康論実践E
兼任 教授	足立 由美 <令和5年4月> 博士(医学)	健康論実践E
		健康論実践E
兼任 教授	太田 亨 <令和5年4月> 修士(文学)	講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任 教授	大野 浩之 <令和5年4月> 博士(理学)	クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 Society 5.0 概論A Society 5.0 概論B
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B クラウド時代のハトソのレ
兼任 教授	大藪 加奈 <令和5年4月> Ph. D. (英国)	English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake) 学域65言語科目Ⅲ(Interaction)
兼任 教授	垣内 康孝 <令和5年4月> 博士(学術)	科学技術と科学方法論
兼任 教授	鎌田 啓一 <令和5年4月> 理学博士	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任 教授	小林 恵美子 <令和5年4月> Ph. D. (米国)	異文化間コミュニケーション
兼任 教授	阪上 るり子 <令和5年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)	フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	米田 隆 <令和5年4月> 博士(医学)	健康科学 イノベーションを起こして、起業家になろう2 イノベーションを起こして、起業家になろう4 未来医科学 未来型ヘルスケアシステム 国際インターナシッブ
		健康論実践E
兼任 教授	足立 由美 <令和5年4月> 博士(医学)	健康論実践E
		健康論実践E
兼任 教授	太田 亨 <令和5年4月> 修士(文学)	講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
		講義の聴解A 講義の聴解B 日本語で学ぶ論理A 日本語で学ぶ論理B
兼任 教授	大野 浩之 <令和5年4月> 博士(理学)	クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習 Society 5.0 概論A Society 5.0 概論B
		クラウド時代の「ものグラミング」概論 シェルスクリプト言語論1 シェルスクリプト言語論2 シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習A シェルスクリプトを用いた「ものグラミング」演習B シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習A シェルスクリプトを用いた「大規模データ処理」演習B クラウド時代のハトソのレ
兼任 教授	大藪 加奈 <令和5年4月> Ph. D. (英国)	English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake)
		English for Academic Purposes I English for Academic Purposes II English for Academic Purposes III English for Academic Purposes IV English for Academic Purposes (Retake) 学域65言語科目Ⅲ(Interaction)
兼任 教授	垣内 康孝 <令和5年4月> 博士(学術)	科学技術と科学方法論
兼任 教授	鎌田 啓一 <令和5年4月> 理学博士	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B
兼任 教授	小林 恵美子 <令和5年4月> Ph. D. (米国)	異文化間コミュニケーション
兼任 教授	阪上 るり子 <令和5年4月> Docteur de l'universite de paris-sorbonne (仏国)	フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)
		フランス語B-1 フランス語B-2 フランス語C-1 フランス語C-2 フランス語A(充実クラスI-1) フランス語A(充実クラスI-2)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	佐川 哲也 <令和5年4月> 修士(教育学)	地元学A(地域資源調査) 地元学B(聞き書き) ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	櫻井 武 <令和5年4月> 工学博士	化学ⅠA 化学ⅠB 化学ⅡA 化学ⅡB
兼任	教授	澤田 茂保 <令和5年4月> 博士(情報科学)	TOEIC準備(演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和5年4月> 博士(理学)	海洋生化学演習
兼任	教授	高山 知明 <令和5年4月> 博士(言語学)	クリティカル・シンキング
兼任	教授	滝野 隆久 <令和5年4月> 博士(医学)	細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和5年4月> 文学修士	地域創造学特別講義C 地域創造学特別講義D
兼任	教授	玉井 郁巳 <令和5年4月> 薬学博士	コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼任	教授	趙 菁 <令和5年4月> 博士(文学)	中国語A1-1 中国語A1-2 中国語A2-1 中国語A2-2 中国語A3-1 中国語A3-2 中国語A4-1 中国語A4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語C-1 中国語C-2 中国語A(充実クラスⅡ-1) 中国語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	教授	塚脇 真二 <令和5年4月> 理学博士	地学実験 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ
兼任	教授	林 透 <令和5年4月> 博士(教育)	デザイン思考入門
兼任	教授	平瀬 直樹 <令和5年4月> 博士(文学)	日本史要説

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	佐川 哲也 <令和5年4月> 修士(教育学)	キャリアデザインコーディネータ 地域協創のアンテナ 社会実装から学ぶ循環経済 ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	澤田 茂保 <令和5年4月> 博士(情報科学)	TOEIC準備(演習)
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和5年4月> 博士(理学)	海洋生化学演習
兼任	教授	高山 知明 <令和5年4月> 博士(言語学)	クリティカル・シンキング
兼任	教授	滝野 隆久 <令和5年4月> 博士(医学)	細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和5年4月> 文学修士	地域創造プロジェクト講義C
兼任	教授	玉井 郁巳 <令和5年4月> 薬学博士	コーヒーと社会 コーヒーと科学
兼任	教授	趙 菁 <令和5年4月> 博士(文学)	中国語A2-1 中国語A2-2 中国語A4-1 中国語A4-2 中国語B-1 中国語B-2 中国語A(充実クラスⅡ-2)
兼任	教授	塚脇 真二 <令和5年4月> 理学博士	地学実験 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ
兼任	教授	林 透 <令和5年4月> 博士(教育)	デザイン思考入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	佐川 哲也 <令和5年4月> 修士(教育学)	ENGINEインターンシップ 地域協創のアンテナ 社会実装から学ぶ循環経済 ゼミ/角間の里山づくり 春編 ゼミ/角間の里山づくり 秋編 ローカルキャリアデザインⅠ ローカルキャリアデザインⅡ
兼任	教授	鈴木 信雄 <令和5年4月> 博士(理学)	海洋生化学演習
兼任	教授	高山 知明 <令和5年4月> 博士(言語学)	クリティカル・シンキング
兼任	教授	滝野 隆久 <令和5年4月> 博士(医学)	細胞・分子生物学
兼任	教授	田邊 浩 <令和5年4月> 文学修士	社会実装と労働生産性
兼任	教授	趙 菁 <令和5年4月> 博士(文学)	中国語実践基礎1 中国語実践基礎2 中国語実践基礎3 中国語実践基礎4 中国語展開Ⅰ 中国語展開Ⅱ
兼任	教授	塚脇 真二 <令和5年4月> 理学博士	地学実験 環境動態学概説Ⅰ 環境動態学概説Ⅱ
兼任	教授	林 透 <令和5年4月> 博士(教育)	デザイン思考入門 泉鏡花と金沢アート

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説	古畑 徹 <令和5年4月> 文学修士 ※
		堀井 祐介 <令和5年4月> 博士(言語文化学)
兼任 教授	価値と情動の認知科学	松井 三枝 <令和5年4月> 博士(医学)
		峯 正志 <令和5年4月> 文学修士 ※
兼任 教授	口頭発表A 口頭発表B 日本事情A 日本事情B	峯 正志 <令和5年4月> 文学修士 ※
		山崎 友也 <令和5年4月> 法学修士 ※
兼任 教授	日本国憲法概説	山崎 友也 <令和5年4月> 法学修士 ※
		吉川 弘明 <令和5年4月> 医学博士
兼任 教授	健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B	吉川 弘明 <令和5年4月> 医学博士
兼任 教授	化学I A 化学I B 化学II A 化学II B	滝川 毅 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2	上田 望 <令和5年4月> 博士(文学)
兼任 教授	中国語C-1 中国語C-2	QI HUA <令和5年4月> 博士(文学)(中国)
兼任 教授	日本事情A 日本事情B	齊木 麻利子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米 国)
兼任 教授	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B	斎藤 基雄 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	微分積分学I A 微分積分学I B 微分積分学II A 微分積分学II B 線形代数学I A 線形代数学I B 線形代数学II A 線形代数学II B	菅野 孝史 <令和5年4月> 理学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	石川県の市町 金沢の歴史と文化 東洋史要説	古畑 徹 <令和5年4月> 文学修士 ※
		堀井 祐介 <令和5年4月> 博士(言語文化学)
兼任 教授	価値と情動の認知科学	松井 三枝 <令和5年4月> 博士(医学)
		峯 正志 <令和5年4月> 文学修士 ※
兼任 講師	口頭発表A 口頭発表B	峯 正志 <令和5年4月> 文学修士 ※
		山崎 友也 <令和5年4月> 法学修士 ※
兼任 教授	日本国憲法概説	山崎 友也 <令和5年4月> 法学修士 ※
		吉川 弘明 <令和5年4月> 医学博士
兼任 教授	健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B	吉川 弘明 <令和5年4月> 医学博士
兼任 教授	化学I A 化学I B 化学II A 化学II B	滝川 毅 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	中国語A 1-1 中国語A 1-2 中国語A 3-1 中国語A 3-2	上田 望 <令和5年4月> 博士(文学)
兼任 教授	中国語C-1 中国語C-2	QI HUA <令和5年4月> 博士(文学)(中国)
兼任 教授	日本事情A 日本事情B	齊木 麻利子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米 国)
兼任 教授	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B	斎藤 基雄 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	微分積分学I A 微分積分学I B 微分積分学II A 微分積分学II B 線形代数学I A 線形代数学I B 線形代数学II A 線形代数学II B	菅野 孝史 <令和5年4月> 理学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授	石川県の市町 金沢の歴史と文化	古畑 徹 <令和5年4月> 文学修士 ※
兼任 教授	価値と情動の認知科学	松井 三枝 <令和5年4月> 博士(医学)
兼任 教授	口頭発表A 口頭発表B 日本事情A 日本事情B	松井 三枝 <令和5年4月> 博士(医学)
兼任 教授	日本国憲法概説	山崎 友也 <令和5年4月> 法学修士 ※
兼任 教授	健康論実践D 心と体の健康A 心と体の健康B	吉川 弘明 <令和5年4月> 医学博士
兼任 教授	化学I A 化学I B 化学II A 化学II B	滝川 毅 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	中国語基礎1 中国語基礎2 中国語基礎3 中国語基礎4	上田 望 <令和5年4月> 博士(文学)
兼任 教授	中国語C-1 中国語C-2	
兼任 教授	日本事情A 日本事情B	齊木 麻利子 <令和5年4月> Doctor of Philosophy(米 国)
兼任 教授	物理学I A 物理学I B 物理学II A 物理学II B	斎藤 基雄 <令和5年4月> 理学博士
兼任 教授	微分積分学I A 微分積分学I B 微分積分学II A 微分積分学II B 線形代数学I A 線形代数学I B 線形代数学II A 線形代数学II B	菅野 孝史 <令和5年4月> 理学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		アプリ開発
兼任	准教授	藤生 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(学術情報学)
		データ駆動型社会と産業 テクノロジー基礎※ スマートインフラマネジメント
兼任	准教授	松本 拓史 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 未来エネルギー創成 金融工学 スマート資金とビジネス応用 社会システム工学
兼任	准教授	浅井 暁子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼任	准教授	井出 明 ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		グローバル社会と地域の課題
兼任	准教授	井町 智彦 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		コンピュータグラフィクス演習Ⅰ コンピュータグラフィクス演習Ⅱ
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	小高 敬寛 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ
兼任	准教授	小田桐 拓志 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (英国)
		ケーススタディによる応用倫理学
兼任	准教授	河合 晃一 ＜令和5年4月＞ 博士(公共経営)
		石川県の行政
兼任	准教授	菊谷 まり子 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	木村 岳裕 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	GRUENEBERG PATRICK ＜令和5年4月＞ Dr. phil. (独国)
		哲学(自我論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	南保 英孝 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		アプリ開発
兼任	准教授	藤生 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(学術情報学)
		データ駆動型社会と産業 テクノロジー基礎※ スマートインフラマネジメント
兼任	准教授	松本 拓史 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 未来エネルギー創成 金融工学 スマート資金とビジネス応用 社会システム工学
兼任	准教授	浅井 暁子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼任	教授	井出 明 ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		グローバル社会と地域の課題
兼任	准教授	上田 長生 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化 日本史要説
兼任	准教授	小高 敬寛 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ
兼任	准教授	小田桐 拓志 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (英国)
		ケーススタディによる応用倫理学
兼任	准教授	河合 晃一 ＜令和5年4月＞ 博士(公共経営)
		石川県の行政
兼任	准教授	菊谷 まり子 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	木村 岳裕 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	GRUENEBERG PATRICK ＜令和5年4月＞ Dr. phil. (独国)
		哲学(自我論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	南保 英孝 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		アプリ開発 AIと未来の社会学
兼任	准教授	藤生 慎 ＜令和5年4月＞ 博士(学術情報学)
		データ駆動型社会と産業 テクノロジー基礎※ 産業DX・PBL演習Ⅰ 産業DX・PBL演習Ⅱ 社会変動と労働生産性 世界の課題と技術トレンド IoT技術 数値行動モデル基礎 スマートインフラマネジメント
兼任	准教授	松本 拓史 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		ファイナンス基礎 フィンテック基礎とビジネス応用 超スマートシティとSociety 5.0 金融工学 スマート資金とビジネス応用 社会システム工学
兼任	准教授	浅井 暁子 ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		芸術と自己表現
兼任	教授	井出 明 ＜令和5年4月＞ 博士(情報学)
		グローバル社会と地域の課題
兼任	教授	上田 長生 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		日本史・日本文化 地域史料から読みなおす日本史
兼任	准教授	小高 敬寛 ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		現代世界への歴史学的アプローチ 文明起源の考古学
兼任	准教授	小田桐 拓志 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (英国)
		ケーススタディによる応用倫理学
兼任	准教授	河合 晃一 ＜令和5年4月＞ 博士(公共経営)
		石川県の行政
兼任	准教授	菊谷 まり子 ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Psychology) (英国)
		パーソナリティ心理学
兼任	准教授	木矢 剛智 ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		生物学実験
兼任	准教授	木村 岳裕 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		エクササイズ&スポーツ 実技
兼任	准教授	GRUENEBERG PATRICK ＜令和5年4月＞ Dr. phil. (独国)
		哲学(自我論)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小島 莊一 <令和5年4月> 博士(学術)
		上級読解 I A 上級読解 I B 上級読解 II A 上級読解 II B アカデミック・ライティング A アカデミック・ライティング B
兼任	准教授	佐藤 朋子 <令和5年4月> DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語 A 1-1 フランス語 A 1-2 フランス語 A 2-1 フランス語 A 2-2 フランス語 A 3-1 フランス語 A 3-2 フランス語 A 4-1 フランス語 A 4-2 フランス語 A (充実クラス II-1) フランス語 A (充実クラス II-2)
兼任	准教授	佐藤 智哉 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス
兼任	准教授	佐藤 文彦 <令和5年4月> Dr. phil. (韓国)
		グローバル時代の文学 ドイツ語 A 1-1 ドイツ語 A 1-2 ドイツ語 A 3-1 ドイツ語 A 3-2
兼任	准教授	篠田 隆行 <令和5年4月> 修士(教育学)
		ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 I 能登・地域活性化演習 II
兼任	准教授	高田 良宏 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報の科学
兼任	准教授	西嶋 愉一 <令和5年4月> 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー
兼任	准教授	早川 文人 <令和5年4月> 博士(文学)
		ドイツ語 A (充実クラス I-1) ドイツ語 A (充実クラス I-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 <令和5年4月> 博士(文学)
		ロシア語 A 1-1 ロシア語 A 1-2 ロシア語 A 2-1 ロシア語 A 2-2 ロシア語 A 3-1 ロシア語 A 3-2 ロシア語 A 4-1 ロシア語 A 4-2 ロシア語 B-1 ロシア語 B-2 ロシア語 C-1 ロシア語 C-2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小島 莊一 <令和5年4月> 博士(学術)
		上級読解 II A 上級読解 II B アカデミック・ライティング A アカデミック・ライティング B
兼任	准教授	佐藤 朋子 <令和5年4月> DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語 A 1-1 フランス語 A 1-2 フランス語 A 2-1 フランス語 A 2-2 フランス語 A 3-1 フランス語 A 3-2 フランス語 A 4-1 フランス語 A 4-2 フランス語 A (充実クラス II-1) フランス語 A (充実クラス II-2)
兼任	准教授	佐藤 智哉 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス
兼任	教授	佐藤 文彦 <令和5年4月> Dr. phil. (韓国)
		グローバル時代の文学 ドイツ語 A 1-1 ドイツ語 A 1-2 ドイツ語 A 3-1 ドイツ語 A 3-2
兼任	准教授	篠田 隆行 <令和5年4月> 修士(教育学)
		石川未来プロジェクト I 石川未来プロジェクト II ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 北陸地域デザイン学
兼任	准教授	高田 良宏 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報の科学
兼任	准教授	西嶋 愉一 <令和5年4月> 工学修士
		TOEIC準備 I TOEIC準備 II TOEIC準備 III TOEIC準備 IV 英語セミナー
兼任	准教授	早川 文人 <令和5年4月> 博士(文学)
		ドイツ語 A (充実クラス I-1) ドイツ語 A (充実クラス I-2)
兼任	准教授	平松 潤奈 <令和5年4月> 博士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小島 莊一 <令和5年4月> 博士(学術)
		上級読解 I A 上級読解 I B 上級読解 II A 上級読解 II B アカデミック・ライティング A アカデミック・ライティング B
兼任	准教授	佐藤 朋子 <令和5年4月> DOCTORAT (psychoses et etats limites) (仏国)
		フランス語基礎 1 フランス語基礎 2 フランス語実践基礎 1 フランス語実践基礎 2 フランス語基礎 3 フランス語基礎 4 フランス語実践基礎 3 フランス語実践基礎 4
兼任	准教授	佐藤 智哉 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		未来デザインプラクティス
兼任	教授	佐藤 文彦 <令和5年4月> Dr. phil. (韓国)
		グローバル時代の文学 ドイツ語基礎 1 ドイツ語基礎 2 ドイツ語基礎 3 ドイツ語基礎 4
兼任	准教授	篠田 隆行 <令和5年4月> 修士(教育学)
		石川未来プロジェクト I 石川未来プロジェクト II ソーシャルビジネス概論 能登・地域活性化演習 北陸地域創生と社会学
兼任	准教授	高田 良宏 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報の科学
兼任	准教授	西嶋 愉一 <令和5年4月> 工学修士
		Practical English I Practical English II Practical English III Practical English IV
兼任	准教授	早川 文人 <令和5年4月> 博士(文学)
兼任	准教授	平松 潤奈 <令和5年4月> 博士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 葉月 <令和5年4月> 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	佐藤 圭 <令和5年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼任	講師	眞住 優助 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼任	講師	松浦 義昭 <令和5年4月> 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼任	助教	西脇 ゆり <令和5年4月> 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	助教	日比野 由利 <令和5年4月> 博士(保健学)
		データ解析演習 ソーシャルイノベーション
兼任	助教	山口 裕通 <令和5年4月> 博士(工学)
		実践データサイエンス ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	助教	和田 啓吾 <令和5年4月> 博士(機能数理学)
		数理学探求 データ解析演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 葉月 <令和5年4月> 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	佐藤 圭 <令和5年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼任	准教授	眞住 優助 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼任	講師	松浦 義昭 <令和5年4月> 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼任	講師	大澤 隆得 <令和5年4月> PhD(英国)
		地域社会と文化人類学
兼任	講師	西村 美希 <令和5年4月> 博士(文学)
		中国語A(充実クラスⅡ-1)
兼任	講師	西脇 ゆり <令和5年4月> 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	助教	日比野 由利 <令和5年4月> 博士(保健学)
		データ解析演習 ソーシャルイノベーション
兼任	助教	山口 裕通 <令和5年4月> 博士(工学)
		実践データサイエンス ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	助教	和田 啓吾 <令和5年4月> 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習 数理学探求 データ解析演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	佐々木 葉月 <令和5年4月> 博士(国際公共政策)
		グローバル時代の政治経済学
兼任	講師	佐藤 圭 <令和5年4月> 博士(理学)
		地球生物圏と人間
兼任	准教授	眞住 優助 <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		グローバル時代の社会学
兼任	講師	松浦 義昭 <令和5年4月> 修士(経営科学)
		統計学から未来を見る
兼任	講師	大澤 隆得 <令和5年4月> PhD(英国)
		地域社会と文化人類学
兼任	講師	西脇 ゆり <令和5年4月> 博士(工学)
		テクノロジー基礎※
兼任	講師	EBNOU MALAININE <令和6年4月> 博士(学術)
		学域GS言語科目Ⅲ(Science and Society)
兼任	講師	山村 公憲 <令和6年4月> 博士(学術)
		学域GS言語科目Ⅲ(English for STEM)
兼任	講師	RUNNER JACOB WAYNE <令和6年4月> Doctor of Philosophy(英国)
		学域GS言語科目Ⅲ(Presentation)
兼任	講師	佐津川 功季 <令和6年4月> 博士(工学)
		数理学探求 超スマートシティとSociety 5.0 スマート産業論
兼任	講師	鈴木 智気 <令和6年4月> 博士(商学)
		社会変動と労働生産性
兼任	助教	日比野 由利 <令和5年4月> 博士(保健学)
		社会調査法 データ解析演習 ソーシャルイノベーション
兼任	准教授	山口 裕通 <令和5年4月> 博士(工学)
		実践データサイエンス ネットワーク・メカニズムデザイン
兼任	講師	和田 啓吾 <令和5年4月> 博士(機能数理学)
		数理・データサイエンス基礎及び演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	櫻本 文彦 <令和5年4月> 博士(理学)
		微積分学ⅠA 微積分学ⅠB 微積分学ⅡA 微積分学ⅡB 線形代数学ⅠA 線形代数学ⅠB 線形代数学ⅡA 線形代数学ⅡB
兼任	助教	小笠原 知子 <令和5年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和5年4月> 医学博士
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和5年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A 2-1 ドイツ語A 2-2 ドイツ語A 4-1 ドイツ語A 4-2 ドイツ語B-1 ドイツ語B-2 ドイツ語C-1 ドイツ語C-2 ドイツ語A (充実クラスⅡ-1) ドイツ語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	助教	東 昭孝 <令和5年4月> 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID <令和5年4月> 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	助教	三橋 了爾 <令和5年4月> 博士(理学)
		インテグレート科学
兼任	助教	森 祥寛 <令和5年4月> 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	苅谷 千尋 <令和5年4月> 博士(政策科学)
		学域横断的プロジェクト入門
兼任	助教	高沼 理恵 <令和5年4月> 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門
兼任	助教	山下 貴弘 <令和6年4月> 修士(教育学)(山口大 学)
		融合先導知実践演習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	小笠原 知子 <令和5年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和5年4月> 医学博士
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和5年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語A 2-1 ドイツ語A 2-2 ドイツ語A 4-1 ドイツ語A 4-2 ドイツ語A (充実クラスⅡ-1) ドイツ語A (充実クラスⅡ-2)
兼任	助教	東 昭孝 <令和5年4月> 博士(工学)
		Pythonデータ分析入門 Unityゲーム開発演習 リアルタイムVFX演習
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID <令和5年4月> 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	三橋 了爾 <令和5年4月> 博士(理学)
		インテグレート科学
兼任	助教	森 祥寛 <令和5年4月> 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	苅谷 千尋 <令和5年4月> 博士(政策科学)
		学域横断的プロジェクト入門
兼任	助教	高沼 理恵 <令和5年4月> 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門
兼任	助教	山下 貴弘 <令和6年4月> 修士(教育学)(山口大 学)
		融合先導知実践演習A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	小笠原 知子 <令和5年4月> Master of Science (米国)
		異文化体験A 異文化体験B 異文化体験C 異文化体験D 異文化体験E 異文化体験F 異文化体験G 異文化体験H
兼任	助教	木下 健 <令和5年4月> 医学博士
		細胞・分子生物学
兼任	助教	KLACANSKA JANA <令和5年4月> Master of Arts (独国)
		ドイツ語実践基礎1 ドイツ語実践基礎2 ドイツ語展開Ⅰ ドイツ語展開Ⅱ
兼任	助教	東 昭孝 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報の科学 Unityゲーム開発演習 Unreal Engineゲーム開発演習
兼任	助教	PHILLIPPS JEREMY DAVID <令和5年4月> 博士(文学)
		日本史・日本文化
兼任	准教授	三橋 了爾 <令和5年4月> 博士(理学)
		インテグレート科学
兼任	助教	森 祥寛 <令和5年4月> 博士(理学)
		プレゼンテーション演習A プレゼンテーション演習B 動画配信サービスを用いた情報発信演習A 動画配信サービスを用いた情報発信演習B
兼任	助教	苅谷 千尋 <令和5年4月> 博士(政策科学)
		RとQuartoではじめるデータサイエンス 学域横断的プロジェクト入門
兼任	助教	高沼 理恵 <令和5年4月> 修士(政策・メディア)
		異文化間コミュニケーション デザイン思考入門 デザイン思考 社会実動と労働生産性
兼任	助教	山下 貴弘 <令和6年4月> 修士(教育学)(山口大 学)
		融合先導知実践演習A

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・有賀三夏(てるみ)専任・講師は学位取得、担当授業科目を変更。
- ・山岸雅子教授、坂本二郎教授、田中志信教授、米山猛教授、野村章洋准教授、大竹茂樹教授、秋田純一教授、佐藤賢二教授、米田隆教授、阪上るり子教授、佐川哲也教授、田邊浩教授、大野浩之教授、上田長生准教授、小島莊一准教授、趙菁教授、唐島成宙准教授、篠田隆行准教授、和田啓吾助教、KLACANSKA JANA助教、東昭孝助教、雄谷ソニア啓子講師の担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、杉山欣也教授、浅川毅教授、齊木麻利子教授、齋藤峯雄教授、菅野孝史教授、八柳祐一教授、QI HUA教授、田中茂雄教授、上田望教授、THELEN TIMO准教授、山田菜緒子准教授、大澤隆将講師、西村英希講師、苅谷千尋助教、高沼(村上)理恵助教を兼任教員に追加。
- ・科目の見直しにより、本田弘之講師、武田昭文講師、BONDARENKO OXANA講師、苗田敏美講師、星摩美講師、山中里紗講師、山本悠貴講師を兼任教員に追加。
- ・原田魁成を専任・助教から専任・講師に変更し、担当授業科目を変更。
- ・松田(白石)真希子を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、鎌田啓一教授、櫻井武教授、粕谷雄一講師、南相環講師、平瀬直樹教授、井町智彦准教授、平松(乗松)潤奈准教授、山本洋准教授、榎本文彦助教、井上克己講師の兼任・兼任を取り消し。
- ・峯正志を兼任・教授から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・井出明、佐藤文彦を兼任・准教授から兼任・教授に変更。
- ・眞住優助を兼任・講師から兼任・准教授に変更。
- ・西脇(秋根)ゆりを兼任・助教から兼任・講師に変更。
- ・三橋了爾を兼任・助教から兼任・准教授に変更。

【令和6年度】

- ・山岸雅子教授、森本章治教授、飯山宏一教授、坂本二郎教授、瀧健太郎教授、寺沢なお子教授、眞鍋知子教授、米山猛教授、野村章洋准教授、米陀佳祐准教授、白石英巨講師、ZHANG JING講師、伊一喜助教、秋田純一教授、尾島恭子教授、北山哲士教授、佐藤賢二教授、佐藤正英教授、佐無田光教授、中山晶一朗教授、米田隆教授、足立由美教授、大野浩之教授、大敷加奈教授、田邊浩教授、趙菁教授、林透教授、古畑徹教授、上田望教授、藤生慎准教授、松本拓史准教授、小高敬寛准教授、小島莊一准教授、佐藤朋子准教授、佐藤文彦准教授、篠田隆行准教授、西嶋愉一准教授、THELEN TIMO准教授、日比野由利講師、KLACANSKA JANA助教、東昭孝助教、苅谷千尋助教、高沼(村上)理恵助教、雄谷ソニア啓子兼任・講師、苗田敏美兼任・講師、星摩美兼任・講師、山中里紗兼任・講師の担当授業科目を変更。
- ・二本恵講師を専任教員に追加。
- ・森崎裕磨を専任・助教から兼任・助教に変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、大竹 茂樹教授、松田(白石)真希子兼任・講師、阪上るり子教授、澤田茂保教授、玉井郁巳教授、堀井祐介教授、峯正志兼任・講師、QI HUA教授、田中茂雄教授、高田良宏准教授、早川文人准教授、山下治和准教授、西村英希講師、武田昭文兼任・講師、本田弘之兼任・講師、BONDARENKO OXANA兼任・講師の兼任・兼任を取り消し。
- ・科目の見直しにより、片岡邦重教授、武居渡教授、足立英彦教授、中村裕之教授、吉永契一郎教授、佐藤純教授、堤敦朗教授、畑光彦教授、青木賢人准教授、佐々木淑貴准教授、BROWN DALE COLIN准教授、金居督之准教授、EBNOU MALAINE講師、山村公恵講師、RUNNER JACOB WAYNE講師、佐津川功季講師、鈴木智気講師、山下貞弘助教を兼任教員に追加。
- ・南保英孝、上田長生を兼任・准教授から兼任・教授に変更し、担当授業科目を変更。
- ・山口裕通を兼任・助教から兼任・准教授に変更。
- ・和田啓吾を兼任・助教から兼任・講師へ変更し、担当授業科目を変更。
- ・科目の見直しにより、MENOUI LOIC HENRI PAUL兼任・講師、村井淳志兼任・講師を兼任教員に追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**原則としてA/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A/C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
11	4	3	3	21	0	11	4	5	1	21	0
(11)	(4)	(3)	(3)	(21)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
11	4	5	1	21	0	13	3	5	2	23	0
[0]	[0]	[2]	[Δ2]	[0]	[0]	[2]	[Δ1]	[2]	[Δ1]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{21} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{21} = \boxed{9.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	森崎 裕磨	R6.3	必修	産業DX・PBL演習Ⅰ	②	R6.3.31付け他学類着任のため辞任（6）			
				必修	産業DX・PBL演習Ⅱ	②				
				選択	データ駆動型社会と産業	②				
				選択	未来エネルギー創成	①				
				選択	ナショナルレジリエンス	②				
				選択	デジタルツインと危機管理	②				
				選択	スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅰ	①				
				選択	スマート創成プロジェクト鍛錬Ⅱ	①				
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	2	科目
		選択	6	科目	選択	3	科目	選択	3	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	3	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

- ・兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	3 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	3 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{21} = 4.76 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

辞任した専任教員は、当初担当予定だった科目のうち3科目を兼任教員として担当することとしている。残る科目も、令和6年度は専任教員又は兼任教員が授業担当することとしており、学生に不利益はない。後任の授業担当教員名に授業科目のシラバスを修正し、大学のWebサイトで公開すると共に、授業時間割表掲載により学生への周知を図っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<融合学域 スマート創成科学類>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 融合系教育研究会議教務・学生生活委員会 関係規程「金沢大学融合研究域等管理運営規程」添付</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員は、融合研究域の専任教員6名及び学生課長 開催は、1か月に約1回</p> <p>c 委員会の審議事項等 融合学域に係る教育課程、授業計画、学生指導・支援、教育改善及びFDなどを審議する</p> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマート創成科学類教員意見交換会 a 実施内容 文理融合教育、カリキュラム等について、スマート創成科学類教員が幅広く意見交換し、教育内容・方法の理解・向上を図る b 実施方法 対面開催 c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和5年10月26日(木) 参加教員数：11名 令和6年 1月25日(木) 参加教員数：11名 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 文理融合教育、カリキュラム等の理解を深め、教育方法の向上に活かす。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 融合学域FD研修会 a 実施内容

毎回テーマに沿って意見交換を行う

MATLAB、DS、INSIGHT等活用事例、能登震災に対する教育研究、学生からの授業・学習環境に対する意見 等

b 実施方法

対面及びオンラインのハイブリッド開催

FD研修会は録画し、研修会終了後オンデマンド配信する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

毎月第3木曜日を基本として開催

令和5年 4月27日（木） 参加教員数：16名

令和5年 6月22日（木） 参加教員数：14名

令和5年 7月27日（木） 参加教員数：14名

令和5年 8月24日（木） 参加教員数：18名

令和5年 9月28日（木） 参加教員数：15名

令和5年10月26日（木） 参加教員数：10名

令和5年11月30日（木） 参加教員数：16名

令和6年 1月25日（木） 参加教員数：13名

令和6年 2月22日（木） 参加教員数：12名

令和6年 3月28日（木） 参加教員数：7名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

MATLAB、DS、INSIGHTの活用事例を紹介し、今後の教育方法改善等の参考とする

学生からの授業・学習環境に対する意見への対応等について意見交換を行い、今後の教育方法改善等の参考とする
授業実施方法等について情報共有、意見交換を継続し、教育方法改善等を進める

・ 研究シーズ紹介

a 実施内容

毎回、融合研究域に所属する教員が自身の研究を紹介し、他教員との融合研究のきっかけとする

b 実施方法

対面開催

c 開催状況（教員の参加状況含む）

融合系教育研究会議（融合研究域全教員対象）に合わせ開催

令和5年 9月14日（木） 参加教員数：23名

令和5年10月12日（木） 参加教員数：23名

令和5年11月 9日（木） 参加教員数：23名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

他教員の研究を理解し、相互の連携、融合研究を探る

・ 全学FD研修会「新任教員説明会＜教育・学生編＞」

a 実施内容

アカンサスポータルサイト及び教務システムの活用、学生指導と支援、学生の心のケア及び学生相談、FD及びシラバス

b 実施方法

対面及びオンラインのハイブリッド開催

FD研修会は録画し、研修会終了後オンデマンド配信する

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和5年4月4日（火） 融合研究域教員1名が対面参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各教員が自身の授業や学生指導に活かす

- ・ ハラスメント防止研修
- a 実施内容
ハラスメント防止に関する研修
- b 実施方法
融合系教育研究会議(融合研究域全教員対象)に合わせ開催
対面開催
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
令和5年7月13日(木)開催 参加教員数:23名
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各教員がハラスメントに関し再認識し、教育研究指導等に留意する

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
クォーター毎に実施する
- b 教員や学生への公開状況、方法等
学期毎に集計の上、本学Webサイトにて教職員及び学生に公開する
授業評価アンケートデータをアカンサスポータルのLMSに置き、融合研究域教員限定で相互閲覧可能

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。
- ② 自己点検・評価報告書
学内規程に基づき，定期的に，全学的な自己点検評価及び部局の自己点検評価を実施することとしている。
- a 公表（予定）時期
・自己点検を令和6年末までに公表予定
- b 公表方法
記入例)
・大学Webサイト上に公開
- ③ 認証評価を受ける計画
・令和3年度に，評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し，適合の認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。